iMac G5
ユーザーズガイド

iMac G5 コンピュータの設置方法、
使用方法、トラブル対策に関する
重要な情報が書かれています

Apple
1 Infinite Loop
Cupertino, CA 95014-2084
U.S.A.
www.apple.com

アップルコンピュータ株式会社
〒 163-1480 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東京オペラシティタワー
www.apple.com/jp

目次

第 1 章
5 **設置と準備**
8 次の手順
9 iMac G5 をスリープ状態にする／電源を切る

第 2 章
11 **iMac G5 について**
12 前面
14 背面
16 Mac OS X について
17 デスクトップをカスタマイズする／環境設定を行う
18 プリンタに接続する
19 CD を再生する／ヘッドフォンを接続する
19 ソフトウェアを最新の状態に保つ
20 ネットワークに接続する
20 インターネットを使用する
20 ファイルをほかのコンピュータに転送する
21 アプリケーションが応答しない場合は
21 アプリケーションを使用する
22 Mac ヘルプで情報を探す

第 3 章
23 **iMac G5 を使用する**
24 Mighty Mouse を使用する
25 キーボードコントロール
26 IR レシーバーと Remote を使用する
29 内蔵 iSight ビデオカメラを使用する
30 AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて
32 Bluetooth 2.0+EDR ワイヤレステクノロジーを使用する
34 Ethernet ネットワークに接続する
35 オーディオ装置を使用する
37 外部ビデオ出力機能（VGA、コンポジット、および S ビデオ）を接続する
39 ハイスピード USB（Universal Serial Bus）2.0 を使用する
41 FireWire で接続する
43 光学式ドライブを使用する
46 iMac G5 のセキュリティを保つ

第 4 章 47 **メモリを取り付ける**
47 メモリを増設する
51 iMac G5 が新しいメモリを認識するかどうかを確認する

第 5 章 53 **トラブルへの対処方法**
54 iMac G5 の使用を妨げるトラブル
55 iMac G5 に付属のソフトウェアを再インストールする
56 その他のトラブル
57 製品のシリアル番号を確認する
58 Apple Hardware Test を使用する

付録 A 59 **仕様**

付録 B 61 **安全性、使用、保守についての情報**
61 iMac G5 を安全に設置、使用するために
62 コネクタとポート
63 聴覚障害を避ける
63 人間工学
64 iMac G5 を清掃する
65 iMac G5 を持ち運ぶ
65 環境向上への取り組み

付録 C 67 **インターネットに接続する**
69 設定アシスタントワークシート
71 インターネット接続を手入力で設定する
71 ダイヤルアップ接続
74 DSL モデム、ケーブルモデム、LAN でのインターネット接続
78 AirMac ワイヤレス接続
81 接続のトラブルシューティング

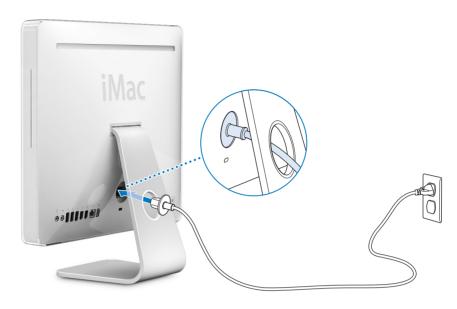
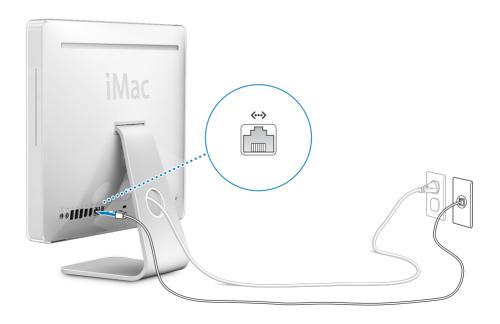
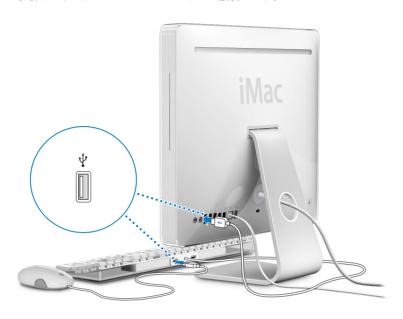
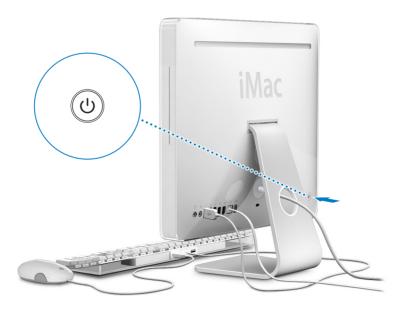
設置と準備

1

お求めの iMac G5 は、手早く設置してすぐに使い始めることができるように設計されています。iMac G5 や Macintosh コンピュータをはじめてお使いになる方は、まずこの章の説明をお読みください。

今までに Mac を使ったことがある方は、iMac G5 をすぐに使い始めるだけの知識をすでにお持ちかもしれません。第 2 章「iMac G5 について」を一読して、お求めの iMac G5 の新機能についての情報を確認してください。

お使いの iMac G5 を設定するときは、この手順に従って進めてください。

手順 1：電源コードをスタンドの穴に通して、iMac G5 の背面にある電源ソケットにつなぎます。

手順 2：インターネットまたはネットワークにアクセスするには、Ethernet ケーブルの一端を iMac G5 につなぎ、もう一端をケーブルモデム、DSL モデム、またはネットワークにつなぎます。

手順 3：キーボードとマウスのケーブルを接続します。

手順 4：パワーボタン（⏻）を押して iMac G5 の電源を入れます。

Wireless Keyboard と Wireless Mouse を使用する

iMac G5 と一緒に Apple Wireless Keyboard および Apple Wireless Mouse を購入した場合は、キーボードとマウスに付属のマニュアルを参照してコンピュータに設置して使用してください。

次の手順

はじめて iMac G5 の電源を入れると、「設定アシスタント」が起動します。「設定アシスタント」を使うと、インターネット情報およびメール情報の入力や iMac G5 のユーザの設定を簡単に行うことができます。ほかの Mac がすでにある場合は、「設定アシスタント」を使って、ファイル、アプリケーション、その他の情報を以前の Mac から新しい iMac G5 に自動的に転送できます。

お使いの iMac G5 に情報を転送する

「設定アシスタント」を使って、別の Mac から新しい iMac G5 に自動的に情報を転送できます。情報を転送するときは、以下の点を確認してください：

- もう 1 台の Mac に内蔵 FireWire が搭載されていて、FireWire ターゲット・ディスク・モードに対応している必要があります。
- もう 1 台の Mac に Mac OS X v10.1 以降がインストールされている必要があります。
- 2 台のコンピュータを接続する FireWire ケーブルが必要です。

「設定アシスタント」を使うと、画面に表示される指示に従うだけで、情報を転送することができます。iMac G5 に情報を転送しても、もう 1 台の Mac の情報に影響はありません。「設定アシスタント」を使って、次の情報を転送できます：

- 環境設定やメールなどのユーザアカウント
- ネットワーク設定。新しい iMac G5 は、もう 1 台の Mac と同じネットワーク設定で動作するよう自動的に設定されます
- 自分のアプリケーションフォルダ。もう 1 台の Mac で使用していたアプリケーションを新しい iMac G5 で使用できるようになります（転送するアプリケーションのいくつかを再インストールしなければならない場合があります）
- ハードディスクに保存されているファイルやフォルダ

iMac G5 をはじめて起動したときに「設定アシスタント」を使って情報を転送しない場合は、後で「移行アシスタント」を使って情報を転送できます。「アプリケーション」フォルダを開き、「ユーティリティ」を開いて、「移行アシスタント」アイコンをダブルクリックします。

参考：「移行アシスタント」を使って後で情報を転送する場合は、古いコンピュータ上で FileVault が切になっていることを確認してください。FileVault を切にするには、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「セキュリティ」をクリックして、画面の説明に従います。

iMac G5 のインターネットの設定を行う

ネットワーク設定を転送しなかった場合は、「設定アシスタント」を使って、iMac G5 をインターネットに接続するための設定を行うこともできます。ホームユーザの場合、インターネットにアクセスするには、インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）に加入する必要があります。別途費用が必要になる場合があります。インターネットアカウントを持っている場合は、入力する必要のある情報を 67 ページの付録 C「インターネットに接続する」で確認してください。

その他の情報

さらに詳しく知りたいときは、以下を参照してください：

知りたいこと …	参照先 …
iMac G5 の電源を切る／スリープ状態にする	以下の「iMac G5 をスリープ状態にする／電源を切る」
iMac G5 のさまざまな部分を使用する／いくつかの一般的な操作を実行する	11 ページの第 2 章「iMac G5 について」
オンスクリーンヘルプから得られる情報を検索する	22 ページの「Mac ヘルプで情報を探す」
iMac G5 の独自の機能を使用する／デジタル装置を接続する	23 ページの第 3 章「iMac G5 を使用する」
メモリを取り付ける	47 ページの第 4 章「メモリを取り付ける」
iMac G5 に問題があるときに、その問題を解決する	53 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」

iMac G5 をスリープ状態にする／電源を切る

iMac G5 での作業を終了するときは、コンピュータをスリープ状態にするか、システム終了することができます。

iMac G5 をスリープ状態にする

iMac G5 を使った作業を中断する期間が 2、3 日より短いときは、iMac G5 をスリープ状態にしてください。スリープ機能が働いているときは、iMac G5 の画面が暗くなり、ディスプレイの右下にある小さい白いランプが脈打つように光ります。iMac G5 はすぐに元の状態に戻すことができます（起動の過程は省略されます）。

iMac G5 をすぐにスリープ状態にするには：

- アップル（）メニュー＞「スリープ」と選択します。
- iMac G5 背面にあるパワーボタンを押します。
- アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「省エネルギー」をクリックして、スリープタイマーをセットします。
- リモコンの「再生／一時停止」ボタンを 3 秒間押したままにします。

iMac G5 を稼働状態に戻すときは、キーボード上の任意のキーまたはリモコンの任意のボタンを押します。iMac G5 がスリープ状態から復帰したとき、お使いのアプリケーション、書類、コンピュータの設定は、スリープ状態に移行する前とまったく同じです。

iMac G5 のシステムを終了する

何日も iMac G5 を使わない場合は、iMac G5 のシステムを終了します。アップル（）メニュー＞「システム終了」と選択します。

> **警告：**iMac G5 を持ち運ぶ前に、iMac G5 のシステムを終了してください。ハードディスクが回転しているときに iMac G5 を持ち運ぶと、ハードディスクが故障して、データが失われたり、ハードディスクから起動できなくなるおそれがあります。

iMac G5 について

2

この章では、お使いの iMac G5 に関する基本的な情報について説明します。

お使いの iMac G5 の各部と Mac OS X の機能の概要について説明します。デスクトップ表示のカスタマイズ、プリンタへの接続、CD の再生、インターネットの利用、助けが必要なときの調べかたなど、一般的な操作に関する情報も含まれます。

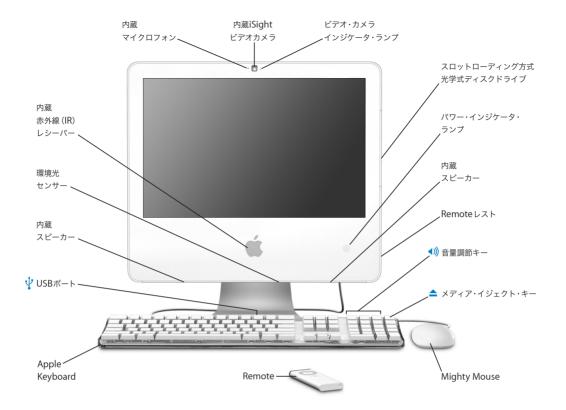
最新情報の入手

アップルでは、システムソフトウェアを頻繁に更新し、新しいバージョンをリリースしています。そのため、このマニュアルに示されている画像は、実際の画面に表示されるものと多少異なる場合があります。

アップルの Web サイト（www.apple.com/jp）から、アップルの最新ニュース、無料ダウンロード、およびお使いのiMac G5のソフトウェアおよびハードウェアのオンラインカタログを入手できます。

また、アップルのサービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）には、多くのアップル製品のマニュアルおよびすべてのアップル製品の技術サポートがあります。

前面

内蔵
マイクロフォン
内蔵iSight
ビデオカメラ
ビデオ・カメラ
インジケータ・ランプ
スロットローディング方式
光学式ディスクドライブ
内蔵
赤外線（IR）
レシーバー
パワー・インジケータ・
ランプ
環境光
センサー
内蔵
スピーカー
内蔵
スピーカー
Remoteレスト
音量調節キー
USBポート
メディア・イジェクト・キー
Apple
Keyboard
Remote
Mighty Mouse

内蔵マイク
iMac G5 に直接音声を記録したり、付属の「iChat AV」アプリケーションを使用してブロードバンドを通じて友人とライブで会話したりすることができます。

内蔵 iSight ビデオカメラ
付属の「iChat AV」アプリケーションを使用して、友人や家族、同僚とビデオ会議ができます。

ビデオ・カメラ・インジケータ・ランプ
iMac G5 のビデオカメラがビデオをキャプチャまたは表示しているときは、小さい緑の LED ランプが点灯します。

スロットローディング方式の光学式ディスクドライブ
iMac G5 には SuperDrive が装備されており、CD-ROM ディスク、フォト CD、一般的な音楽 CD、DVD ディスク、および DVD ムービーを読み取ることができます。SuperDrive では、音楽、書類、およびその他のデジタルファイルを CD-R、CD-RW、DVD±R、DVD±RW、および DVD+R DL（2 層）ディスクに書き込むこともできます。

パワー・インジケータ・ランプ
iMac G5 がスリープ状態のときは、白いランプが点滅します。iMac G5 の電源が入っているときは、このランプは消えています。

内蔵スピーカー
音楽、ムービー、ゲーム、マルチメディアなどの音を聴くことができます。

Remote レスト
使用していないときにリモコンを格納します。

音量調節キー
内蔵スピーカーやサウンド出力ポートに接続した装置から出力される音声の音量を調節します。

メディア・イジェクト・キー
CD または DVD ディスクを取り出します。デスクトップにあるディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグして、ディスクを取り出すこともできます。

Mighty Mouse
プログラム可能な、革新的なスクロールボール の付いたマルチボタンのマウスを使って、書 類やコンテンツをクリック、スクイーズ、およびスクロールします。

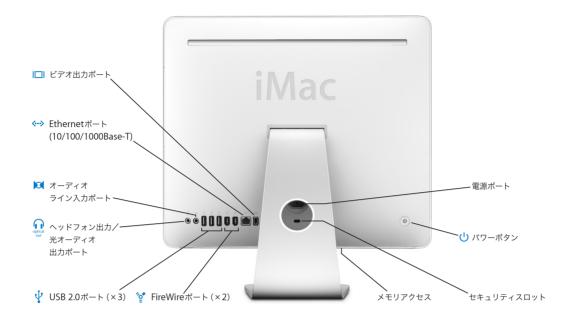
Remote
リモコンと「Front Row」インターフェイスを使って、机のそばにいなくても、「iTunes」の音楽にアクセスしたり、「iPhoto」のスライドショーを再生したり、ムービーを観たりすることができます。

Apple Keyboard に装備された 2 基の USB（Universal Serial Bus）1.1 ポート
マウス、デジタルカメラ、ジョイスティックなどの低出力の USB 1.1 装置を iMac G5 コンピュータのキーボードに接続できます。マウスをキーボードの USB ポートの 1 つに接続します。（お使いの iMac G5 の背面には、3 つのハイスピード USB 2.0 ポートもあります。）

環境光センサー
iMac G5 がスリープ状態のときに、周囲の光の量に応じてパワー・インジケータ・ランプの明るさが自動的に調整されます。

内蔵の赤外線（IR）レシーバー
リモコンと内蔵の IR レシーバー を使って、iMac G5 をシームレスに操作します。

背面

ビデオ出力ポート
Ethernetポート
(10/100/1000Base-T)
オーディオ
ライン入力ポート
ヘッドフォン出力／
光オーディオ
出力ポート
optical out
USB 2.0ポート（×3）
FireWireポート（×2）
iMac
電源ポート
パワーボタン
メモリアクセス
セキュリティスロット

ビデオ出力ポート
オプションの Apple VGA ディスプレイアダプタ（www.apple.com/japanstore から入手できます）を使って、VGA コネクタを使用する外部モニタまたはプロジェクタに接続することができます。オプションの Apple ビデオアダプタ（www.apple.com/japanstore から入手できます）を使って、S ビデオまたはコンポジット・ビデオ・コネクタを使用するテレビ、ビデオデッキ、またはその他の映像装置を接続することができます。

Ethernet ポート（10/100/1000Base-T）
10/100/1000Base-T の高速な Ethernet ネットワーク、DSL モデムやケーブルモデム、またはほかのコンピュータに接続してファイルを転送できます。Ethernet ポートによって、ほかの Ethernet 装置が自動的に検出されます。

オーディオライン入力ポート
ラインレベルのマイクロフォンやその他のオーディオ機器から音声を iMac G5 に入力できます。

ヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポート
ヘッドフォンなど音声出力用の装置を接続することができます。または、ミニプラグジャック付きの光オーディオケーブルを使って、レシーバー、ホーム・シアター・システム、またはその他のデジタルオーディオ機器を接続できます。

USB（Universal Serial Bus）2.0 ポート（3 基）
プリンタ、ディスクドライブ、デジタルカメラ、ジョイスティックなどを接続することができます。USB 1.1 およびハイスピード USB 2.0 装置を接続します。

FireWire 400 ポート（2 基）
デジタル・ビデオ・カメラや外部記憶装置などの装置を高速なデータ転送速度で接続できます。

メモリアクセス
お使いの iMac G5 には、512 MB（メガバイト）以上の 533 MHz、PC2-4200 DDR2 (Double Data Rate 2) SDRAM（Synchronous Dynamic Random Access Memory）が搭載されています。お使いの iMac G5 には、合計 2.5 GB までメモリを追加できます。メモリの取り付け方法について詳しくは、47 ページの「メモリを増設する」を参照してください。

セキュリティスロット
鍵とケーブルを取り付けて、盗難を防止します（www.apple.com/japanstore から入手できます）。

パワーボタン
iMac G5 の電源を入れたり、スリープ状態にしたりします。押し続けると、問題が起きたときにリセットすることができます。

電源ポート
iMac G5 コンピュータの電源コードを接続します。

AirMac Extreme テクノロジー（内部）
お使いの iMac G5 の内蔵 AirMac Extreme テクノロジーを使ってワイヤレスネットワークに接続します。

Bluetooth® 2.0+EDR ワイヤレステクノロジー（内部）
Bluetooth 対応の携帯電話、PDA、プリンタ、Apple Wireless Keyboard や Apple Wireless Mouse などの装置にワイヤレスで接続します（Apple Wireless Keyboard と Mouse は www.apple.com/japanstore から購入できます）。

Mac OS X について

お使いの iMac G5 には、Mac OS X Tiger が搭載されています。これには、すべてのファイルのインデックスを自動的に作成する改良された検索エンジン「Spotlight」、「ウィジェット」と呼ばれる便利で小さいアプリケーションをすぐ手元に置くためのインターフェイス「Dashboard」、開いているすべてのアプリケーションを分かりやすく並べて表示する「Exposé」、iMac G5 に付属のリモコンを使って音楽、写真、ビデオ、およびムービーにアクセスして制御するための新しいインターフェイス「Front Row」が含まれています。

Mac OS X、および iMac G5 に付属している、数々の賞を受賞した iLife アプリケーションについてさらに詳しく知りたいときは、お使いの iMac G5 に付属の小冊子「Welcome to Tiger」を参照してください。また、「Mac ヘルプ」の情報も参照してください。新しいユーザ、経験豊富なユーザ、および Mac に変更したユーザ向けのさまざまな情報が見つかります。Mac OS X の使用中に問題が発生した場合は、このマニュアルの巻末にあるトラブルへの対処方法のヒントを参照するか、または画面の上部にあるメニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択してください。

Mac OS X とソフトウェア・アプリケーションの互換性に関する情報や、Mac OS X についてもっと詳しく知りたいときは、Mac OS X の Web サイト（www.apple.com/jp/macosx）を参照してください。

参考：お使いの iMac G5 で Mac OS 9 アプリケーションを使用したい場合は、Classic 環境に対応したバージョンの Mac OS 9 をインストールする必要があります（56 ページの「Mac OS 9 をインストールする」を参照してください）。Mac OS 9 を主要オペレーティングシステムとしてお使いの iMac G5 にインストールすることはできません。また、お使いの iMac G5 を Mac OS 9 で起動することはできません。

デスクトップをカスタマイズする／環境設定を行う

「システム環境設定」を使用すると、デスクトップの外観を好みに合わせて簡単に変更できます。メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。

次の項目をいろいろと変更して試してみてください：

- デスクトップとスクリーンセーバ — この環境設定パネルでは、デスクトップの背景の色やパターンを変更したり、背景を好きな写真や画像に変更したりすることができます。また、iMac G5 をしばらく操作しなかったときに画面に表示される美しいスクリーンエフェクトを変更することもできます。
- Dock — この環境設定パネルでは、「Dock」の外観、位置、および動作を変更できます。
- アピアランス — この環境設定パネルでは、ボタン、メニュー、ウインドウ、およびハイライトの色などのオプションを変更できます。

iMac G5 に慣れてきたら、ほかのシステム環境設定も試してみてください。「システム環境設定」では、お使いの iMac G5 のさまざまな設定を変更できます。詳しくは、「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「システム環境設定」または変更したい特定の環境設定を検索してください。

プリンタに接続する

必要なソフトウェアをインストールしてプリンタを接続するには、プリンタに付属のマニュアルの指示に従ってください。Mac OS X には、ほとんどのプリンタのドライバが内蔵されています。

多くのプリンタは、USB ケーブルを介して接続できます。Ethernet などのネットワーク接続が必要なプリンタもあります。AirMac Express ベースステーションまたは AirMac Extreme ベースステーションをお持ちの場合は、USB プリンタをコンピュータではなくベースステーションに接続して、ワイヤレスでプリントすることができます。

USB または FireWire プリンタを接続すると、通常は自動的にプリンタが検出され、使用可能なプリンタのリストに追加されます。ネットワークに接続されたプリンタからプリントする場合は、プリンタのネットワーク名またはアドレスが必要になる場合があります。

プリンタを設定するには：

1 「システム環境設定」を開き、「プリントとファクス」アイコンをクリックします。
2 「プリント」をクリックしてから、「追加」ボタン（+）をクリックして、プリンタを追加します。
3 使用するプリンタを選択し、「追加」をクリックします。
4 プリンタリストに表示されるプリンタを選択するときは、「追加」ボタン（+）と「取り除く」ボタン（–）を使用します。

プリント処理を監視する

プリンタに書類を送信した後で、プリント処理を監視できます。これには、プリントジョブの停止や一時保留も含まれます。プリントの状態を監視するには、「Dock」にあるプリンタのアイコンをクリックして、プリンタのウインドウを開きます。プリントキュー内のプリントジョブが表示され、それらのジョブを操作できます。

詳しくは、「Mac ヘルプ」を開き、「プリントする」を検索してください。

CD を再生する／ヘッドフォンを接続する

iMac G5 で音楽を聴きたい場合は、光学式ドライブに音楽 CD をセットします。操作が簡単な音楽プレーヤー「iTunes」が自動的に開きます。また、ミニジャック付きのヘッドフォンを iMac G5 のヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポート（🎧）に接続して、1 人で聴くこともできます。

「iTunes」について詳しいことを知るには：

- 「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes & Music Store ヘルプ」と選択します。

光学式ドライブについて詳しくは、43 ページの「光学式ドライブを使用する」を参照してください。

ソフトウェアを最新の状態に保つ

インターネットに接続し、最新の無料ソフトウェアバージョン、ドライバ、およびその他の強化機能をアップルから自動的にダウンロードしてインストールできます。

インターネットに接続されている場合、「ソフトウェア・アップデート」がアップルのインターネットサーバをチェックして、お使いのコンピュータで利用できるアップデートがあるかどうかを確認します。お使いの Mac が定期的にアップルのサーバをチェックして、アップデートされたソフトウェアをダウンロードしてインストールするように設定することもできます。

アップデートされたソフトウェアを確認するには：

1 「システム環境設定」を開きます。

2 「ソフトウェア・アップデート」アイコンをクリックし、画面に表示される指示に従います。

- 詳しくは、「Mac ヘルプ」で「ソフトウェア・アップデート」を検索してください。
- Mac OS X に関する最新情報は、Mac OS X の Web サイト（www.apple.com/jp/macosx）を参照してください。

ネットワークに接続する

お使いの iMac G5 を Ethernet ネットワーク、ケーブルモデムや DSL モデム、またはワイヤレスネットワークに接続したい場合、Ethernet または AirMac 接続の設定について詳しくは、34 ページの「Ethernet ネットワークに接続する」および 30 ページの「AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて」を参照してください。また、「Mac ヘルプ」を開き、「Ethernet」または「AirMac」を検索して、さらに詳しい情報を調べることもできます。

インターネットを使用する

最初に iMac G5 を設定したときに、「設定アシスタント」に従ってインターネットに接続されています。接続の種類（DSL モデム、ケーブルモデム、Ethernet LAN（Local Area Network）、AirMac Extreme ネットワークなど）を変更する必要がある場合は、67 ページの付録 C「インターネットに接続する」を参照してください。

ファイルをほかのコンピュータに転送する

お使いの iMac G5 とほかのコンピュータとの間でファイルまたは書類を転送するには、いくつかの方法があります。

- 「設定アシスタント」を使うと、簡単にファイルを転送できます。詳しくは、8 ページの「お使いの iMac G5 に情報を転送する」を参照してください。
- .Mac またはその他のインターネットアカウントを使って、インターネットを介してファイルを転送できます。詳しくは、www.mac.com/japan を参照してください。
- iMac G5 が Ethernet ネットワークに接続されている場合は、ネットワーク上の別のコンピュータにファイルを転送できます。別のサーバまたはコンピュータにアクセスするときは、「Finder」のウインドウを開き、「ネットワーク」をクリックします。コンピュータの名前またはネットワークアドレスが分かっている場合は、「Finder」のメニューバーから「移動」＞「サーバへ接続」と選択します。
- お使いの iMac G5 からほかのコンピュータの Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続して、小規模な Ethernet ネットワークを作成できます。詳しくは、「Mac ヘルプ」を開き、「2 台のコンピュータを接続する」を検索してください。
- FireWireケーブルを使ってほかのMacと接続できます。お使いのiMac G5がほかのコンピュータ上でディスクドライブとして表示され、ファイルを転送することができます。FireWire を使ったファイルの転送について詳しくは、42 ページの「FireWire ターゲット・ディスク・モードを使用する」を参照してください。
- AirMac ワイヤレスネットワークに接続して、ファイルを転送できます。詳しくは、30 ページの「AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて」を参照してください。

ファイルや書類の転送について詳しくは、「Mac ヘルプ」を開いて、「ファイルを転送する」または目的の接続方法を検索してください。

アプリケーションが応答しない場合は

まれに、アプリケーションが画面上で操作不能になることがあります。Mac OS X には、iMac G5 を再起動せずに、応答しないアプリケーションを終了する方法が用意されています。操作不能になったアプリケーションを終了すると、開いているほかのアプリケーションでの作業を保存できる場合があります。

アプリケーションを強制終了するには：

1 コマンド（⌘）＋ Option ＋ Esc キーを押すか、アップル（）メニュー＞「強制終了」と選択します。

「アプリケーションの強制終了」ダイアログが表示され、問題のアプリケーションが選択されます。

2 「強制終了」をクリックします。

問題のアプリケーションが終了します。ほかのアプリケーションはすべて開いたままになります。

必要に応じて、Classic を強制終了できます。この場合、すべての Mac OS 9 アプリケーションが閉じます。また、このダイアログから「Finder」を再起動することもできます。

その他の問題が発生した場合は、53 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」を参照してください。

アプリケーションを使用する

お使いの iMac G5 には、メールの送信、ネットサーフィン、オンラインチャット、音楽やデジタルフォトの整理、ムービーの作成などを行うための、iLife アプリケーションを含むさまざまなソフトウェア・アプリケーションが付属しています。これらのアプリケーションについて詳しくは、該当のアプリケーションを開いてから、アプリケーションのヘルプを開いてください。

Mac ヘルプで情報を探す

Mac の使用に関するほとんどの情報は、「Mac ヘルプ」にあります。

Mac ヘルプを開くには：

1 「Dock」（画面下部に表示されるアイコンのバー）の「Finder」アイコンをクリックします。

2 「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択します（メニューバーの「ヘルプ」メニューをクリックして「Mac ヘルプ」を選びます）。

3 検索欄をクリックして質問を入力し、キーボードの Return キーを押します。

iMac G5 を使用する

3

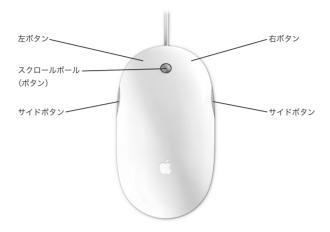
この章では、お使いの iMac G5 に内蔵されている多数の機能の使用方法について説明します。この章を読めば、お使いのコンピュータを最大限に活用できます。

以下のセクションに重要な情報が記載されています：

- 24 ページの「Mighty Mouse を使用する」
- 25 ページの「キーボードコントロール」
- 26 ページの「IR レシーバーと Remote を使用する」
- 29 ページの「内蔵 iSight ビデオカメラを使用する」
- 30 ページの「AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて」
- 32 ページの「Bluetooth 2.0+EDR ワイヤレステクノロジーを使用する」
- 34 ページの「Ethernet ネットワークに接続する」
- 35 ページの「オーディオ装置を使用する」（コンビネーションヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポートについても記載されています）
- 37 ページの「外部ビデオ出力機能（VGA、コンポジット、および S ビデオ）を接続する」
- 39 ページの「ハイスピード USB（Universal Serial Bus）2.0 を使用する」
- 41 ページの「FireWire で接続する」
- 43 ページの「光学式ドライブを使用する」
- 46 ページの「iMac G5 のセキュリティを保つ」

iMac G5 の機能について知りたいときは、まずこの章を参照してください。詳しい情報は、「Mac ヘルプ」と、iMac G5 のサポート Web サイト（www.apple.com/jp/support/imac）で参照できます。

Mighty Mouse を使用する

お使いの iMac G5 には、Mighty Mouse が付属しています。このマウスには、スクロールの調整が可能でクリックもできる 360 度スクロールボール、圧力を感知する 2 つのサイドボタン、およびタッチセンサー式の右ボタンと左ボタンが付いています。Mighty Mouse は、1 ボタンのマウスとして設定するか、スクロールボールを有効にしたり Exposé を起動したり「Dashboard」を表示したりするように設定します。

Mighty Mouse を設定する

Mighty Mouse は、「キーボードとマウス」環境設定の「マウス」パネルを使って、1 ボタンのマウスとして設定したり、マルチボタンのマウスとして設定することができます。

「キーボードとマウス」環境設定を開くには：

1 アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。

2 「キーボードとマウス」をクリックして、「マウス」をクリックします。

「キーボードとマウス」環境設定の「マウス」パネルのポップアップメニューを使って、任意のボタンに次の操作を割り当てます：

- 主ボタンと副ボタンを割り当る
- Exposé を起動する
- 「Dashboard」を表示する
- Spotlight を開く
- アプリケーションを切り替える
- アプリケーションを開く

縦方向と横方向のスクロールを無効にしたり、軌跡、スクロール、およびダブルクリックの速度を調節したりすることもできます。

Mighty Mouse についての詳しい情報

Mighty Mouse の設定と使用についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「Mighty Mouse」で検索してください。

キーボードコントロール

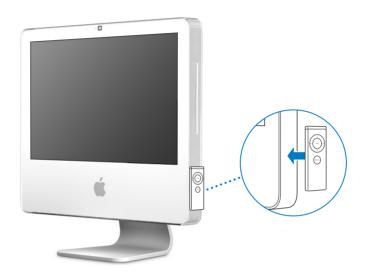
キーボードコントロールを使って、すばやく音量を調節したり、ディスクを取り出したりできます。

ディスプレイのコントラストを強くするには、キーボードの F15 キーを押します。コントラストを弱くするには、F14 キーを押します。

Exposé を使用すると、画面上のウインドウを簡単に管理できます。開いているすべてのウインドウを一度に表示するには、F9 キーを押します。現在のアプリケーションで開いているすべてのウインドウを表示するには、F10 キーを押します。開いているすべてのウインドウを閉じてデスクトップを表示するには、F11 キーを押します。

IR レシーバーと Remote を使用する

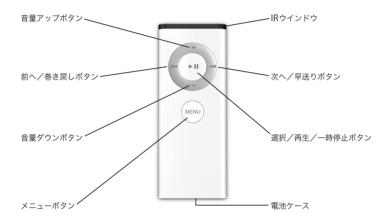
リモコンは、「Front Row」インターフェイスおよび内蔵の赤外線（IR）レシーバーと共に動作します。レシーバーは、iMac G5 の前面にある Apple（）ロゴの裏にあります。リモコンを使うと、部屋の中の離れた場所から「Front Row」を開いて、「iTunes」の音楽を再生したり、「iPhoto」のスライドショーや QuickTime ムービーによる映画の予告編を観たり、「DVD プレーヤー」で DVD を再生したりできます。

リモコンを使わないときは、iMac G5の右側面にあるRemoteレストに片付けておくことができます。

警告：Remote レストには磁石が含まれており、磁石によってハードディスクまたは iPod 上のデータが消去されるおそれがあります。データを守るために、Remote レストにこれらおよびその他の磁気メディアを近づけないようにしてください。

リモコンを使って次の操作ができます：

- 「iTunes」で、曲の音量調節、曲の再生または一時停止、次または前のトラックへの移動を行います。
- 「iPhoto」で、フォトアルバムのスライドショーを再生します。
- 「ムービー」フォルダ内のムービーを再生したり、オンラインで QuickTime ムービーによる映画の予告編を視聴したりします。
- 光学式ドライブ内の DVD を「DVD プレーヤー」で再生します。

リモコンを使用するには：

- 「Front Row」を開いて、曲、スライドショー、ムービー、映画の予告編、ミュージックビデオを再生するときは、「メニュー」ボタンを押します。前のメニューに戻るときにも、「メニュー」ボタンを押します。
- メニューオプションを移動したり音量を調節したりするときは、「音量アップ（+）」ボタンと「音量ダウン（–）」ボタンを押します。
- メニューからオプションを選択するときは、「選択／再生／一時停止」ボタンを押します。「iTunes」の曲、「iPhoto」のスライドショー、またはムービーの 1 つを再生したり一時停止したりするときにも、「選択／再生／一時停止」ボタンを使用できます。
- 「iTunes」で前または次のトラックに移動するときは、「前へ／巻き戻し」ボタンと「次へ／早送り」ボタンを押します。トラックを巻き戻しまたは早送りするときは、これらのボタンを押したままにします。DVD ムービーで前または次のチャプタに移動するときにも、これらのボタンを使用できます。ムービーを巻き戻しまたは早送りするときは、これらのボタンを押したままにします。

Remote を登録する

お使いのリモコンは、IR レシーバーが内蔵された iMac G5 で使用できます。1 つの部屋に複数の iMac コンピュータまたはその他の IR レシーバー内蔵装置がある場合（ホームオフィスや研究室に複数の iMac がある場合など）は、お使いのリモコンを特定のコンピュータまたは装置に「登録」できます。登録を行うと、受信側のコンピュータまたは装置は、1 つのリモコンでのみ制御できるように設定されます。

Remote を iMac に登録するには：

1 お使いの iMac のすぐ近く（10 cm くらいの距離）に移動します。
2 iMac G5 の前面にある Apple ロゴにリモコンを向けます。
3 リモコンの「メニュー」ボタンと「次へ／早送り」ボタンを 5 秒間押したままにします。

Remote と iMac 間の登録を削除するには：

1. メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「セキュリティ」をクリックして、「登録解除」をクリックします。

電池を交換する

リモコンにはボタン電池が含まれます。必要に応じて、ボタン電池 CR 2032 と交換してください。

電池を交換するには：

1. 上の図で示すように、小さな物でボタンを押して、電池ケースを開きます。
2. 電池ケースを引き出し、ボタン電池を取り外します。
3. 交換用のボタン電池を、プラス側（＋）を上にした状態で挿入します。
4. 電池ケースを閉じます。

IR 受信を切にする

「セキュリティ」環境設定を使って、お使いの iMac G5 の IR 受信を入または切にできます。

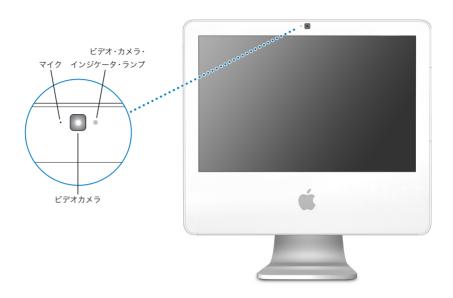
IR 受信を切にするには：

- メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「セキュリティ」をクリックします。
- 「赤外線レシーバーのリモートコントロールを無効にする」チェックボックスを選択します。

Remote についての詳しい情報

お使いのリモコンについての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「リモコン」や「Remote」で検索してください。

内蔵 iSight ビデオカメラを使用する

内蔵 iSight ビデオカメラを使うと、ほかの iChat AV ユーザと、フルモーションビデオによるリアルタイムのビデオ会議ができます。お使いの iMac G5 にはマイクも内蔵されているので、iChat AV ビデオ会議で音声とビデオの両方を利用できます。

ビデオ会議を行う

内蔵 iSight を使ってビデオ会議を行うには、次のものが必要です：

- .Mac、AOL（America Online）、または AOL インスタントメッセンジャー（AIM）アカウント（iChat AV に必要です）
- DSL モデム、ケーブルモデム、またはローカル・エリア・ネットワーク（LAN）によるブロードバンドインターネット接続。ダイヤルアップインターネット接続は使用できません。
- ビデオ会議の相手（たとえば、ほかの iChat AV ユーザとビデオ会議ができます）

ビデオ会議を開始するには：

1 「iChat AV」を開きます。

2 メンバーリストでメンバーの横にある「カメラ」ボタンをクリックします。

これにより、内蔵 iSight の横にある緑の LED ランプが点灯して、ビデオを記録中であることが示されます。また、要求を受け入れるための参加依頼がメンバーに送信され、カメラに自分がどのように映っているかがプレビューとして表示されます。メンバーが参加依頼を受け入れると、画面にそのメンバーが表示され、メンバーの画面に自分が表示されます。

複数のメンバーとビデオ会議を行う

1 度に最大で 3 人までのメンバーとビデオ会議ができます。1 人のメンバーがビデオ会議の「ホスト」になり、ほかのメンバーは参加者になります。

複数のメンバーとのビデオ会議を開始するには：

1 「iChat AV」を開きます。

2 コマンドキーを押しながら、ビデオ会議に参加してもらいたいメンバーを選択します。

3 メンバーリストの下にある「カメラ」ボタンをクリックします。

メンバーリストにメンバーを追加する方法については、「ヘルプ」＞「iChat AV ヘルプ」と選択してください。

iSight ビデオカメラを切にする

iSight カメラを切にするには、最前面の iChat ウインドウを閉じます。カメラの横にある緑の LED が消えて、ビデオカメラが切で記録が停止されていることが示されます。

自分のメンバーアイコンとして自分のピクチャを使用する

内蔵 iSight で自分のピクチャを撮影し、自分のメンバーアイコンとして使うことができます。ほかのメンバーのメンバーリストに追加されると、そのメンバーリストに自分のピクチャが表示されます。

自分のメンバーアイコンを設定するには：

1 「iChat AV」を開きます。

2 「メンバー」＞「自分のピクチャを変更」と選択します。

3 「カメラ」ボタンをクリックします。

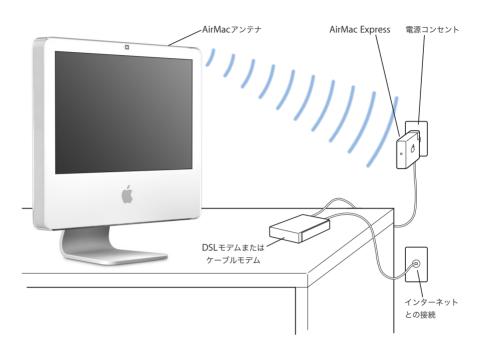
4 写真を撮ります。

AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて

iMac G5 には、AirMac Extreme テクノロジーが内蔵されています。AirMac は、家庭、オフィス、教室などでインターネットにワイヤレスで接続できる簡単で低コストな手段です。従来のようにケーブルを使う代わりに、AirMac ではワイヤレス LAN（Local Area Network）のテクノロジーを使った、複数のコンピュータ間でのワイヤレス通信が可能です。ワイヤレスのネットワークを介して、インターネットへのアクセスの設定、ファイル転送、マルチプレーヤーによるゲームなどを行うことができます。

参考：また、AirMac Express ベースステーションまたは AirMac Extreme ベースステーションと、インターネット接続（別途費用が必要になる場合があります）も必要です。インターネット・サービス・プロバイダの中には、現在 AirMac と互換性がないものもあります。また、通信範囲は建物の条件によって変わります。

AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ

AirMac では、ベースステーションと呼ばれる装置との間でワイヤレス通信が行われます。ベースステーションは物理的にインターネットに接続されます。AirMac テクノロジーは、コードレス電話のしくみに似ています。AirMac Extreme テクノロジーを備えた iMac G5 は、電話回線、DSL モデム、またはケーブルモデム経由でインターネットに接続された AirMac Express ベースステーションまたは AirMac Extreme ベースステーションとの間でワイヤレス接続を行います。

AirMac についての詳しい情報

AirMac Express ベースステーションまたは AirMac Extreme ベースステーションを購入するには、アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）をご利用ください。

AirMac についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、次に「ライブラリ」>「AirMac ヘルプ」と選択します。アップルの AirMac の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/airmac

Bluetooth 2.0+EDR ワイヤレステクノロジーを使用する

お使いの iMac G5 には、Bluetooth 2.0+EDR（Enhanced Data Rate）ワイヤレステクノロジーが内蔵されています。Bluetooth では、コンピュータ、PDA（携帯情報端末）、携帯電話、カメラ付き携帯電話、プリンタ、デジタルカメラ、およびワイヤレス入力装置（Apple Wireless Keyboard や Apple Wireless Mouse など。これらは www.apple.com/japanstore で購入できます）の間で短距離のワイヤレス接続ができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用すると、これまでのように多くのケーブルで装置を接続する必要がなくなります。Bluetooth に対応した装置は、最大 10 メートル（33 フィート）離れた距離でワイヤレス接続することができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによって、次のような操作が可能です：

- iMac G5 を使って Bluetooth 対応の携帯電話と通信する。お使いの電話がモデムとして機能して、ワイヤレス・サービス・プロバイダに接続できるので、携帯電話を使ってインターネットにアクセスできます。
- Bluetooth 対応のコンピュータと装置間、および Mac と PC 間でファイルを交換する。ただし、サイズの小さなファイル以外は、AirMac Extreme ワイヤレスネットワークを使って転送することをお勧めします。
- お使いの iMac G5 と Bluetooth 対応の PDA 間でデータを同期する。「iSync」を使用すると、ケーブルを使わずに HotSync 操作を実行したり、名刺やカレンダーのイベントなどを同僚の PDA に直接送信したりできます。
- Bluetooth ワイヤレスプリンタ、キーボード、マウス、またはヘッドセットを使用する。

Bluetooth デバイスを設定する

携帯電話を使ってインターネットに接続したり、アドレス情報を共有したり、ファイルをほかのデバイスと共有したり、Bluetooth キーボードやマウスを使用したりする前に、iMac G5 と通信するデバイスを設定する必要があります。デバイスを設定すると、デバイスはお使いの iMac G5 に「登録」され、「Bluetooth」環境設定の「デバイス」パネルにそのデバイスが表示されます。iMac G5 にはデバイスを一度のみ登録する必要があり、登録を解除するまでその 2 つの装置は登録された状態のままになります。

Bluetooth デバイスを設定するには：

1. メニューバーの「Bluetooth」ステータスメニュー（✱）から「Bluetooth デバイスを設定」を選択します。
2. 設定するデバイスの種類用の画面に表示される指示に従います。

重要：メニューバーに「Bluetooth」ステータスメニュー（✱）がない場合は、「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。「設定」をクリックし、「Bluetooth の状況をメニューバーに表示」を選択します。

デバイスの登録を削除するには：

1 「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。

2 「デバイス」をクリックし、リストでデバイスを選択します。

3 「登録を削除」をクリックします。

Bluetooth ファイル交換を設定する

Bluetooth デバイス間で交換されるファイルの処理方法を制御することができます。iMac G5 に送信されるファイルを受け取るか拒否するかを選択したり、ほかのデバイスから受け取るファイルに使用するフォルダを指定したりできます。また、ほかのデバイスがブラウズできるフォルダや、受信するファイルに使用するアプリケーションを指定することもできます。

Bluetooth ファイル交換を設定するには：

1 「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。

2 「共有」をクリックします。

3 「Bluetooth ファイル交換」の「入」チェックボックスを選択し、ポップアップメニューを使用して設定を調整します。

Bluetooth デバイスにファイルを送信する

お使いの iMac G5 から通信範囲にあるほかの Bluetooth デバイスにファイルを送信できます。デバイスがコンピュータに登録されていない場合は、ファイルを送信する前にそのデバイスを認証しなければならないことがあります。デバイスをすでに iMac G5 に登録している場合、認証する必要はありません。

Bluetooth デバイスにファイルを送信するには：

1 メニューバーの「Bluetooth」ステータスメニューから「ファイルを送信」を選択します。

2 送信するファイルを選択し、「送信」をクリックします。

3 「デバイス」リストからデバイスを選択し、「送信」をクリックします。

デバイスが「デバイス」リストにない場合は、「検索」をクリックします。見つかったデバイスは、「よく使う項目」リストに追加できます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーについての詳しい情報

「Bluetooth ファイル交換」アプリケーション（「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにあります）を起動し、「ヘルプ」＞「Bluetooth ヘルプ」と選択して、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの使いかたに関する情報を参照できます。アップルの Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/bluetooth

Ethernet ネットワークに接続する

お使いの iMac G5 には、転送速度が 10/100/1000 Mbps（メガビット／秒）の Base-T（ツイストペア）Ethernet のネットワーク機能が搭載されています。これを利用して、ネットワークに接続したり、ケーブルモデムや DSL モデムに接続したりすることができます。

ネットワークに接続すれば、ほかのコンピュータを利用することができます。情報をほかのコンピュータに保存したり、ほかのコンピュータに保存されている情報を入手したり、ネットワークに接続されているプリンタやモデムを利用したり、メールを送受信したり、インターネットに接続したりすることができます。また、2 台のコンピュータでファイルを共有したり、小規模のネットワークを構築したりできます。iMac G5 に装備されている Ethernet ポートでは、Ethernet を介して接続されているほかの装置を自動的に検出します。ほかの Ethernet 装置に接続するために、クロスケーブルは必要ありません。

- 10Base-T の Ethernet ネットワークに接続するには、4 対 8 芯の Ethernet ケーブル（カテゴリ 3）を使ってください。
- 10Base-T、100Base-T、または 1000Base-T の Ethernet ネットワークに接続するには、2 対 4 芯の Ethernet ケーブル（カテゴリ 5）を使ってください。

Ethernet の使用についての詳しい情報

Ethernet ネットワークの設定方法や、Ethernet を使ったファイルの転送方法などの詳細情報は、「Mac ヘルプ」（22 ページを参照）で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「Ethernet」か「ネットワーク」を検索してください。お使いの iMac G5 で使用できるネットワーク製品について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：www.apple.com/jp/guide

オーディオ装置を使用する

お使いの iMac G5 は、幅広いオーディオ機能を備えています。iMac G5 には、内蔵のステレオスピーカー、ヘッドフォンまたはデジタルオーディオ機器を接続するためのコンビネーションヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポート、およびアナログ・オーディオ・ライン入力ポートがあります。

ヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポート

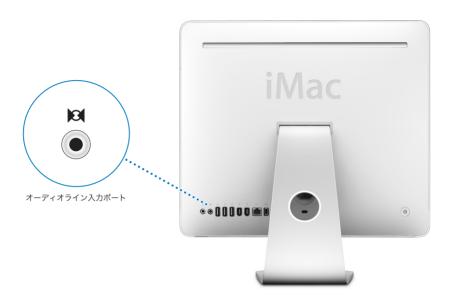
ヘッドフォンをコンビネーションヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポート（🎧）に接続し、近くにいる人の迷惑にならないように音楽を聴くことができます。

また、ミニプラグコネクタ付きの光オーディオケーブルを使って、AV レシーバーを接続したり、iMac G5 ベースのホーム・シアター・システムを設定することもできます。

ヘッドフォン出力／
光オーディオ出力ポート

オーディオライン入力ポート

iMac G5 の背面にあるオーディオ読み込み用のアナログ・オーディオ・ライン入力ポート（⌘）には、外部電源マイクロフォンやその他のオーディオ装置を接続できます。

使用したいオーディオ入力または出力装置を選択するときは、「システム環境設定」の「サウンド」パネルを使用します。

オーディオの使用についての詳しい情報

オーディオの使い方についての詳細情報は「Mac ヘルプ」（22 ページを参照）で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「オーディオ」か「音楽」を検索してください。お使いの iMac G5 で使用できるオーディオおよび音楽製品について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：www.apple.com/jp/guide

外部ビデオ出力機能（VGA、コンポジット、および S ビデオ）を接続する

お使いの iMac G5 には、Apple VGA ディスプレイアダプタ（www.apple.com/japanstore から入手できます）を使って、外部ディスプレイ（モニタ）や VGA プロジェクタの接続に使用できるビデオ出力ポートが装備されています。

Apple ビデオアダプタ（www.apple.com/japanstore から入手できます）を使って、テレビ、ビデオプロジェクタ、またはビデオデッキを接続し、コンピュータの画像を表示または記録することもできます。

参考：Apple ビデオアダプタは、以前の一部のモデルの iMac モデルとは互換性がありません。

外部モニタやテレビを接続すると、同じ画像が iMac G5 ディスプレイと外部モニタの両方に表示されます（ビデオミラーリングと呼ばれます）。

参考：ほとんどのテレビでは表示に制限があるため、テレビ画面に表示される画質は内蔵ディスプレイや外部モニタよりも低くなります。

外部ディスプレイまたはプロジェクタを接続する

外部の VGA ディスプレイまたはプロジェクタを iMac G5 を接続するには、Apple VGA ディスプレイアダプタを使用します。iMac G5 によって外部ディスプレイが自動的に検出されます。

外部ディスプレイまたはプロジェクタを接続するには：

1 外部ディスプレイまたはプロジェクタの電源を入れます。

2 Apple VGA ディスプレイアダプタを外部ディスプレイまたはプロジェクタの VGA ポートに接続します。

3 Apple VGA ディスプレイアダプタを iMac G5 に接続します。

重要：iMac G5 が確実に外部ディスプレイまたはプロジェクタを自動検出するためには、先に VGA アダプタを外部ディスプレイまたはプロジェクタに接続する必要があります。

4 「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを使用して、外部ディスプレイまたはプロジェクタの解像度を調節します。

テレビ、ビデオデッキ、その他の映像装置を接続する

コンポジットまたは S ビデオポートを備えたテレビ、ビデオデッキ、その他の種類の映像装置を iMac G5 に接続するには、Apple ビデオアダプタを使用します。テレビを接続すると、iMac G5 とテレビの両方に画像が表示されます。

映像装置を iMac G5 に接続するには：

1 Apple ビデオアダプタのプラグの一端を iMac G5 のビデオ出力ポートに接続します。

2 アダプタのプラグのもう一方の端をテレビまたはビデオデッキのコンポジット・ビデオ・ポートまたは S ビデオポートに接続します。

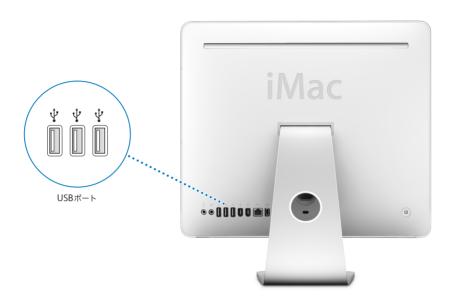
3 外部装置の電源を入れます。

4 装置での映像の表示方法を調節するときは、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを使用します。

外部ディスプレイまたはテレビの使用についての詳しい情報

外部モニタの使用と設定についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「ディスプレイ」で検索してください。

ハイスピード USB（Universal Serial Bus）2.0 を使用する

お使いの iMac G5 には、5 つの USB ポート（ψ）（iMac G5 の背面に 3 つのハイスピード USB 2.0 ポート、キーボードに 2 つの USB 1.1 ポート）が付属しています。これらのポートを使って、プリンタ、スキャナ、デジタルカメラ、ゲームパッド、ジョイスティック、キーボード、フロッピー・ディスク・ドライブなど、多くの種類の外部装置を接続できます。USB によって周辺装置との接続が簡単になります。USB 装置の多くは、iMac G5 の動作中に接続や取り外しができます。装置は、接続するだけですぐに使用できます。

USB 装置を使用する

iMac G5 で USB 装置を使用するときは、その装置を iMac G5 に接続するだけです。新しい装置を接続すると、iMac G5 は必要なソフトウェアに自動的にアクセスします。

USB 1.1 装置とハイスピード USB 2.0 装置は、iMac G5 の背面にある USB 2.0 ポートに接続できます。USB 1.1 装置では、USB 2.0 の高速な転送速度を利用することはできません。

同様に、USB 2.0 装置をキーボードの USB 1.1 ポートに接続できますが、転送速度が遅くなります。

参考：アップル製のコンピュータには、USB 装置を使用するためのソフトウェアがあらかじめインストールされています。USB 装置を接続したとき、お使いの iMac G5 が正しいソフトウェアを検出できなかった場合は、装置に付属するソフトウェアをインストールするか、装置の製造元の Web サイトから最新のソフトウェアを入手することができます。

複数の USB 装置を同時に使用する

USB ポートがすべて使用されているときにさらに USB 装置を接続したい場合は、USB ハブを購入することができます。USB ハブを iMac G5 の空いている USB ポートに接続すれば、追加の USB ポート（通常は、4 基または 7 基です）を利用できるようになります。ほとんどの USB ハブは、電源アダプタを独自に備えており、コンセントに接続する必要があります。

USB についての詳しい情報

USB についての詳細情報は「Mac ヘルプ」（22 ページを参照）で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「USB」を検索してください。アップルの USB の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/usb

お使いの iMac G5 で利用できる USB 装置について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：www.apple.com/jp/guide

FireWire で接続する

お使いの iMac G5 には FireWire 400 ポート（ ）が 2 基装備されています。FireWire を使うと、デジタル・ビデオ・カメラ、プリンタ、スキャナ、ハードディスクなど、高速なデータ転送をする外部装置を簡単に接続したり、取り外したりすることができます。FireWire 装置の接続や取り外しに、iMac G5 を再起動する必要はありません。

FireWire で利用できる機能をいくつか紹介します：

- デジタル・ビデオ・カメラを接続し、「iMovie」（iMac G5 に付属）、「Final Cut Express」、「Final Cut Pro」などのビデオ編集用ソフトウェアを使って、高品質のビデオを iMac G5 に直接取り込み、転送、および編集することができます。
- 外部 FireWire ハードディスクドライブを接続して、データのバックアップやファイルの転送に使用できます。ドライブを iMac G5 に接続すると、FireWire ハードディスクのアイコンがデスクトップに表示されます。
- 外部 FireWire ハードディスクから起動できます。外部 FireWire ディスク（有効なオペレーティングシステムがインストールされているもの）を接続してから、「システム環境設定」の「起動ディスク」パネルを開いて、FireWire ディスクをクリックします。iMac G5 を再起動します。

FireWire 装置を使用する

iMac G5 で FireWire 装置を使用するときは、その装置をコンピュータに接続するだけです。アップル製のコンピュータには、FireWire 装置を使用するためのソフトウェアがあらかじめインストールされています。FireWire 装置を接続したとき、お使いの iMac G5 が正しいソフトウェアを検出できなかった場合は、装置に付属するソフトウェアをインストールするか、装置の製造元の Web サイトから最新のソフトウェアを入手することができます。

参考：FireWire ポートは、FireWire 装置に（最大 8 ワットの）電力を供給できる設計になっています。複数の装置を接続するときは、それらの装置を相互に接続して iMac G5 の FireWire ポートに「デイジーチェーン」方式で接続することもできます。ほとんどの場合、iMac G5 から供給される電力を利用する装置は多くても 2 台にしてください。3 台以上の装置を接続するときは、デイジーチェーン方式で接続されているそれ以外の装置には、専用の電源アダプタから電力を供給するようにしてください。iMac G5 から供給される電力を利用する FireWire 装置を 3 台以上接続すると、問題が発生する場合があります。問題が発生した場合は、iMac G5 をシステム終了して、FireWire 装置の接続を解除し、iMac G5 を再起動してください。

FireWire ターゲット・ディスク・モードを使用する

iMac G5 と FireWire に対応したほかのコンピュータとの間でファイルを転送する場合や、iMac G5 の起動に関する問題が発生している場合は、FireWire ターゲット・ディスク・モードという機能を使ってほかのコンピュータに接続することができます。

iMac G5 を FireWire ターゲット・ディスク・モードで接続するには、以下の手順に従ってください：

1 iMac G5 の電源が切れていることを確認してください。

2 両端に標準的な 6 ピンのコネクタが付いている FireWire ケーブルを使って、お使いの iMac G5 を FireWire ポートを備えたほかのコンピュータに接続します。

3 iMac G5 を起動し、すぐに T キーを押したままにします。

iMac G5 ディスプレイには、FireWire ロゴが表示されます。相手側のコンピュータのディスプレイには、iMac G5 の内蔵ハードディスクのアイコン、および iMac G5 コンピュータの光学式ドライブ内の CD または DVD ディスクのアイコンが表示されます。

4 ファイルを転送し終わったら、iMac G5 のハードディスクのアイコンおよび CD または DVD ディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします。

5 iMac G5 のパワーボタンを押して、システムを終了します。

6 FireWire のケーブルを取り外します。

FireWire についての詳しい情報

FireWire についての詳細情報は「Mac ヘルプ」（22 ページを参照）で参照できます。「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、「FireWire」を検索してください。アップルの FireWire の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/firewire

光学式ドライブを使用する

お使いの iMac G5 には、SuperDrive が搭載されています。SuperDrive では、CD や DVD からソフトウェアをインストールしたり、オーディオ CD の音楽を再生したり、DVD ムービーを再生したりできます。また、ホーム・ムービーを記録して、ほとんどの家庭用 DVD プレーヤーで再生できるビデオ DVD を作成することもできます。ほとんどの CD プレーヤーで再生できる音楽 CD を作成することや、「Finder」を使って空の CD-R、CD-RW、DVD±R、DVD±RW、および DVD+R DL（2 層）ディスクに書類やその他のデジタルファイルを保存することができます。ほぼ 2 倍のデータ（最大 8.54 GB）を DVD+R DL ディスクに保存できます。

重要：iMac G5 の光学式ドライブは、標準の 12 cm 円盤状ディスクに対応しています。不規則な形のディスクや 12 cm 未満のディスクには対応していません。円盤状でないディスクや小さいディスクは、ドライブ内でつかえてしまうことがあります。ドライブ内でディスクがつかえてしまった場合は、57 ページのトラブルへの対処方法を参照してください。

参考：古いソフトウェアがフロッピーディスクで提供されている場合は、そのソフトウェアの CD を入手できるかどうか、または Web からダウンロードできるかどうかについてソフトウェアの製造元にお問い合わせください。または、アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）で、iMac G5 用の外部 USB フロッピー・ディスク・ドライブをご購入ください。

CD または DVD のディスクをセットする

CD または DVD のディスクからプログラムをインストールしたり実行したりするには：

1 ラベルを手前にしてディスクを光学式ドライブにセットします。

2 ディスクのアイコンがデスクトップに表示されたら、そのディスクを使用できます。

参考：DVD ディスクには、両面を使用できるものもあります。

ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、次のいずれかの操作を行います：

- ディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします。
- キーボードのメディアイジェクト（⏏）キーを、ディスクが取り出されるまで押し続けます。

ディスクを取り出せない場合は、ディスクを使用している可能性があるアプリケーションをすべて終了し、再度試してください。それでも取り出せない場合は、マウスボタンを押したまま iMac G5 を再起動します。

DVD ディスクを再生する

DVD を再生するときは、DVD ディスクをセットします。「DVD プレーヤー」が自動的に起動し、ディスクが再生されます。

テレビ画面で DVD 再生を鑑賞するために iMac G5 をテレビに接続する場合は、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルで、「720 × 480 NTSC」（日本や米国の場合）または「720 × 576 PAL」（ヨーロッパなどの場合）を選択します。

iMac G5 とステレオシステムは簡単に接続できます。ミニプラグコネクタ付きの光オーディオケーブル（www.apple.com/japanstore から購入できます）を使って、お使いの iMac G5 のコンビネーションヘッドフォン出力／光オーディオ出力ポート（🎧）とステレオレシーバーの光オーディオ入力ポートを接続します。

CD-R および CD-RW ディスクに記録する

iTunes ライブラリから CD-R または CD-RW ディスクに、音楽を直接記録することができます。

iTunes を使用して CD-R または CD-RW ディスクに音楽を記録するには：

1. 「Dock」で「iTunes」アイコンをクリックします。
2. 記録したいプレイリストを選択します。
3. 空の CD-R または CD-RW ディスクをセットします。（CD プレーヤーとの高い互換性を得るには、CD-R ディスクを使用してください。）
4. 「iTunes」ウインドウの上部にある「CD を作成」をクリックします。

Finder を使用して CD-R および CD-RW ディスクにファイルやフォルダを記録するには：

1. 光学式ドライブに、空のディスクをセットします。
2. 表示されるダイアログで、ディスクの名前を入力します。デスクトップに CD のアイコンが表示されます。
3. ファイルやフォルダをディスクのアイコンにドラッグします。
4. 「ファイル」＞「ディスクを作成」と選択するか、ディスクを選択して、「Dock」の「ディスクを作成」アイコンにそのディスクをドラッグします。

CD の記録についての詳しい情報

- 「iTunes」を使って CD-R ディスクに音楽ファイルを記録する方法については、「iTunes」を起動し、「ヘルプ」＞「iTunes & Music Store ヘルプ」と選択してください。
- 「DVD プレーヤー」の使いかたについては、「DVD プレーヤー」を起動し、「ヘルプ」＞「DVD プレーヤーヘルプ」と選択してください。

DVD に情報を記録する

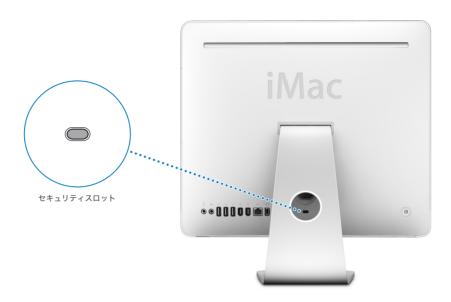
お使いの iMac G5 には SuperDrive が搭載されているので、独自のホーム・ムービーを空の DVD+R DL、DVD±RW、または DVD±R ディスクに記録することができます。ほかの種類のデジタルデータを記録することもできます（たとえば、ファイルをバックアップできます）。

Finder を使って DVD-R ディスクにデータを記録するには：

1. 未使用の DVD+R DL、DVD±RW、または DVD±R ディスクをドライブにセットします。
2. 表示されたダイアログにディスクの名前を入力し、作成するフォーマットを選択します。デスクトップに DVD のアイコンが表示されます。
3. DVD のアイコンをダブルクリックしてから、ファイルとフォルダをそこにドラッグします。
4. 「ファイル」＞「ディスクを作成」と選択するか、ディスクを選択して、「Dock」の「ディスクを作成」アイコンにそのディスクをドラッグします。

「iDVD」を使用すれば、独自の DVD を作成して、空の DVD ディスクに記録し、ほとんどの標準的な DVD プレーヤーで再生できます。「iDVD」の使いかたについて詳しくは、「iDVD」を起動し、「ヘルプ」＞「iDVD ヘルプ」と選択してください。

iMac G5 のセキュリティを保つ

お使いの iMac G5 のセキュリティを保つには、盗難防止用のケーブルと内蔵のセキュリティスロットを使います。

盗難防止用のケーブルは、アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）で購入できます。

「Mac ヘルプ」（22 ページを参照）には、iMac G5 のソフトウェアによるセキュリティ機能（マルチ・ユーザ・パスワードやファイルの暗号化など）についての詳しい情報が記載されています。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「セキュリティ」または「マルチユーザ」で検索してください。

メモリを取り付ける

4

この章では、iMac G5 にメモリを取り付ける場合の情報や手順について説明します。

お使いの iMac G5 には、512 MB（メガバイト）以上の DDR2（Double Data Rate 2）SDRAM（Synchronous Dynamic Random Access Memory）が搭載されています。お使いの iMac G5 には、拡張用に空いているメモリスロットが 1 つあります。

メモリを増設する

次の仕様を満たすメモリモジュールを追加できます：

- DDR2 DRAM
- 533 MHz、PC2-4200 準拠（DDR2 533 とも呼ばれます）
- バッファなし／レジスタなし

iMac G5 の空きスロットに 512 MB、1 GB（ギガバイト）、または 2 GB のメモリモジュールを追加して、最大で 2.5 GB のメモリ容量にできます。「システムプロファイラ」を使用して、お使いの iMac G5 に取り付けられているメモリ量を確認してください。スロットが空いていてメモリを追加できるかどうかを確認するために、「システムプロファイラ」を使うこともできます。

「システムプロファイラ」を使用するには：

1 メニューバーからアップル（）メニュー＞「この Mac について」と選択します。

2 「詳しい情報」をクリックして「システムプロファイラ」を開きます。

3 「ハードウェア」の横にある展開用の三角形をクリックします。

4 「メモリ」をクリックします。

警告：アップルでは、メモリの取り付けを、アップル正規サービスプロバイダにご依頼になることをお勧めします。アップルの連絡先などは、iMac G5 に付属のサービスとサポートに関する資料に記載されています。メモリの取り付けをご自分で行われる場合、装置が故障する危険性があります。ご自分で行った作業が原因で発生した故障に対して、iMac G5 の製品保証は適用されません。

メモリモジュールを取り付けるには：

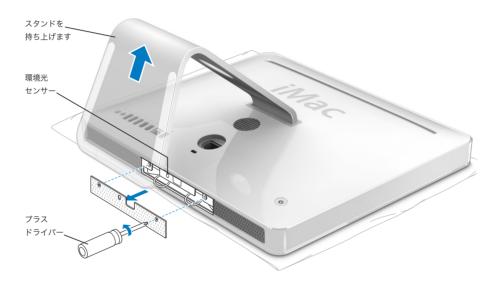
1 アップル（）メニュー＞「システム終了」と選択して、iMac G5 の電源を切ります。

警告：メモリを取り付ける前に、必ず iMac G5 のシステムを終了してください。コンピュータが電源につながれているときにメモリを取り付けないでください。

2 iMac G5 からすべてのケーブルと電源コードを取り外します。

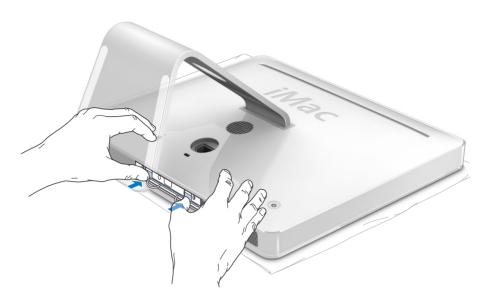
3 柔らかい清潔なタオルか布を机などの面に置きます。iMac G5 の側面を手で持ち、画面が水平になり、底面が手前を向くように、ゆっくりとコンピュータを横に寝かせます。

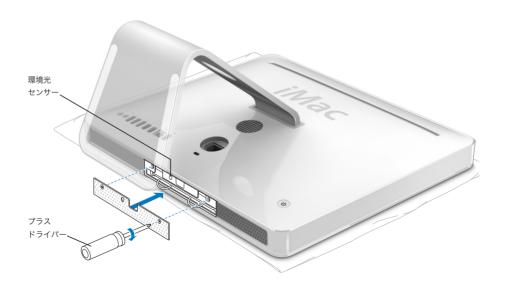
4 スタンドを持ち上げ、プラスドライバーを使って、メモリ・アクセス・カバーを固定している 2 つの拘束ねじを反時計回りに回して緩めます。

警告：環境光センサーは、図に示すように、2 つのねじの間にあります。環境光センサーをねじと間違えないでください。環境光センサーをドライバーなどの先の尖ったもので突くと、コンピュータが損傷することがあります。

5 メモリ・アクセス・カバーを取り外します。

6 メモリ収納部の 2 つの輪を同時に引き下げます。メモリモジュールがスロットに取り付けられている場合は、輪を引っ張ると外れます。

7 メモリモジュールをメモリ収納部に挿入します。モジュールがスロットに収まる向きは 1 つだけです（下の図を参照してください）。

8 メモリモジュールを収納部にゆっくり押し込んでしっかりと固定します。メモリを正しく押し込むと、軽くカチッという音がして 2 つの輪がそれぞれ自動的にスロット内に折り込まれます。

9 メモリ・アクセス・カバーを元に戻すと、輪がメモリ収納部に押し込まれます。プラスドライバーを使ってねじを締めます。

警告：メモリの取り付けが終わったら、忘れずにメモリ・アクセス・カバーを元に戻してください。お使いの iMac G5 は、メモリ・アクセス・カバーがないと正しく機能しません。

10 iMac G5 の両方の側面を持ってコンピュータを起こし、ケーブルと電源コードをつなぎ直します。

11 iMac G5 の背面にあるパワーボタンを押して、コンピュータの電源を入れます。

iMac G5 が新しいメモリを認識するかどうかを確認する

iMac G5 にメモリを増設したら、新しく取り付けたメモリをコンピュータが認識するかどうかを確認できます。

以下の手順でメモリを確認してください：

1 iMac G5 を起動します。

2 Mac OS のデスクトップが表示されたら、アップル（）メニュー＞「この Mac について」と選択します。

メモリの合計は、iMac G5 に最初から搭載されていたメモリと、新しく取り付けたメモリを足したものです。iMac G5 に取り付けられているメモリの内訳について詳しくは、「詳しい情報」をクリックし、「システムプロファイラ」を開いて確認してください。

iMac G5 がメモリを認識しない、またはコンピュータが正常に起動しない場合は、iMac G5 のシステムを終了して取り付け手順をもう一度確認し、メモリに iMac G5 との互換性があるかどうか、メモリが正しく取り付けられているかどうかを確かめてください。それでも問題が解決しない場合は、メモリを取り外し、メモリに付属のサポート情報を調べるか、メモリの製造元に問い合わせてください。

トラブルへの対処方法

5

iMac G5 で作業をしているときに問題が起きることがあります。この章では、問題が起きたときに試してみることができる解決方法について説明します。

この章には、システムが操作不能になる場合や、iMac G5 が起動しない場合など、iMac G5 での作業を妨げる問題に対処する方法が記載されています。トラブルへの対処方法についてさらに詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」（22 ページを参照）と、アップルのサービス & サポート Web サイト（www.apple.com/jp/support）で参照できます。

iMac G5 に問題が発生した場合は、通常、簡単ですぐに実行できる解決方法が存在します。問題が起きたときは、その問題が起きる前にしていたことを書き留めるようにしてください。問題が起きる前にしていたことを書き留めておけば、問題の原因を特定し、必要な答えを見つけるときに役に立ちます。以下のようなことを書き留めてください：

- 問題が起きたときに使用していたアプリケーション。特定のアプリケーションにだけ問題が起きる場合は、そのアプリケーションが iMac G5 にインストールされているバージョンの Mac OS と互換性がない可能性があります。
- 最近インストールしたソフトウェア。特定のアプリケーションによって Classic 環境と互換性がない機能拡張がインストールされる場合があります。
- 新しく接続した、または取り付けたハードウェア（たとえば、増設したメモリや周辺機器など）。

警告：iMac G5 を開けないでください。iMac G5 の修理が必要な場合は、アップル正規サービスプロバイダまたはアップルに問い合わせる方法について、コンピュータに付属のサービスとサポートに関する資料を参照してください。iMac G5 には、メモリ以外、ユーザが修理できる部品はありません。

iMac G5 の使用を妨げるトラブル

iMac G5 が反応しないときやポインタが動かないときは

- まず、マウスとキーボードが正しく接続されているか確認します。コネクタを抜いてから、接続し直します。しっかりと接続されていることを確認してください。ワイヤレスのキーボードまたはマウスをお持ちの場合は、バッテリーが充電済みであることを確認してください。
- 上記の方法がうまくいかないときは、問題のあるアプリケーションを強制的に終了してみてください。Option キーとコマンド（⌘）キーを押しながら、Esc キーを押します。ダイアログが表示される場合は、アプリケーションを選んで「強制終了」をクリックします。次に、開いているアプリケーションすべての作業を保存し、問題を完全に解消するために iMac G5 を再起動します。
- アプリケーションを強制的に終了できなかった場合は、iMac G5 背面のパワーボタン（⏻）を数秒間押して、システムを終了します。
- 上記の方法がうまくいかないときは、電源コードを iMac G5 から抜きます。次に、電源コードを接続し直し、iMac G5 のパワーボタン（⏻）を押して電源を入れます。

特定のアプリケーションを使用中に頻繁に問題が起きる場合は、アプリケーションの製造元に連絡して、お使いの iMac G5 と互換性があるか確認してください。

お使いの iMac G5 に付属のソフトウェアについてのサポートおよび連絡先情報は、www.apple.com/jp/guide を参照してください。

問題が頻繁に起きる場合は、システムソフトウェアをインストールし直す必要がある場合があります（55 ページの「iMac G5 に付属のソフトウェアを再インストールする」を参照）。

起動中に iMac G5 の画面が動かなくなったり、？マークが点滅するときは

- 数秒間待ちます。しばらくたっても iMac G5 が起動しない場合は、パワーボタン（⏻）を約 5 秒間押して、システムを終了します。次に、Option キーを押しながらもう一度パワーボタン（⏻）を押して、iMac G5 を起動します。iMac G5 が起動したら、ハードディスクのアイコンをクリックしてから、右向きの矢印をクリックします。
- iMac G5 が起動してから、「システム環境設定」を開いて「起動ディスク」をクリックします。ローカルの Mac OS X の「システム」フォルダを選びます。
- 問題が頻繁に起きる場合は、システムソフトウェアをインストールし直す必要がある場合があります（55 ページの「iMac G5 に付属のソフトウェアを再インストールする」を参照）。

iMac G5 の電源が入らないときや、起動しないときは

- 電源コードが iMac G5 に接続され、正常に機能している電源コンセントに接続されていることを確かめます。
- 上記の方法がうまくいかないときは、パワーボタン（⏻）を押して、すぐにコマンド（⌘）キー、Option キー、P キー、R キーを同時に押します。起動音が 2 回鳴るまで押し続けてください。
- 最近、メモリを増設した場合は、適切に取り付けられていることと、お使いの iMac G5 と互換性があることを確認します。メモリや装置を取り外して、iMac G5 が起動するかどうかを確認してください（47 ページを参照）。

• 上記の方法がうまくいかないときは、電源コードをコンピュータから抜いて、30 秒以上待ちます。電源コードを接続し直し、iMac G5 のパワーボタン（⏻）をもう一度押して iMac G5 を起動します。
• 以上の方法でも iMac G5 を起動できないときは、iMac G5 に付属のサービスとサポートに関する資料を参照して、修理についてアップルに問い合わせてください。

iMac G5 に付属のソフトウェアを再インストールする

Mac OS X と iMac G5 に付属のアプリケーションをインストールし直したり、Mac OS 9 をインストールするには、iMac G5 に付属のソフトウェア・インストール・ディスクを使用します。

重要：アップルでは、ソフトウェアを復元する前に、ハードディスクのデータをバックアップしておくことをお勧めします。いかなるデータの消失につきましても、アップルは一切の責任を負いません。

Mac OS X をインストールする

Mac OS X をインストールするには：

1. 重要なファイルをバックアップします。
2. iMac G5 に付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。
3. 「Install Mac OS X and Bundled Software」をダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って操作します。
5. インストール先のディスクを選択した後、画面に表示される指示に従って操作を続けます。iMac G5 が再起動し、次の「Mac OS X Install Disc」を挿入するよう求めるメッセージが表示される場合もあります。

重要：「消去してからインストール」オプションはインストール先ディスクを消去するので、重要なファイルは Mac OS X やその他のアプリケーションをインストールする前にバックアップしておいてください。

アプリケーションをインストールする

お使いの iMac G5 に付属のアプリケーションをインストールするには、次の手順に従います。iMac G5 にすでに Mac OS X がインストールされている必要があります。

アプリケーションをインストールするには：

1. 重要なファイルをバックアップします。
2. iMac G5 に付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。
3. 「Install Bundled Software Only」をダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って操作します。
5. インストール先のディスクを選択した後、画面に表示される指示に従って操作を続けます。

参考：「iCal」、「iChat」、「iSync」、「iTunes」、および「Safari」をインストールするには、上記の「Mac OS X をインストールする」の手順に従います。

Mac OS 9 をインストールする

iMac G5 には、Mac OS 9 はインストールされていません。お使いの iMac G5 で Mac OS 9 アプリケーションを使用する場合は、「Mac OS X Install Disc 2」を使って Mac OS 9 をインストールする必要があります。

Mac OS 9 をインストールするには：

1 可能な場合は、重要なファイルをバックアップします。
2 iMac G5 に付属の「Mac OS X Install Disc 2」を挿入します。
3 「Install Mac OS 9 System Support」をダブルクリックします。
4 画面に表示される指示に従って操作します。
5 インストール先のディスクを選択した後、画面に表示される指示に従って操作を続けます。

その他のトラブル

アプリケーションに問題があるときは

- アップル以外の製造元のソフトウェアで起きる問題については、そのソフトウェアの製造元に問い合わせてください。ソフトウェアの製造元が、Web サイトでソフトウェアのアップデートを提供していることがあります。「システム環境設定」の「ソフトウェア・アップデート」パネルを使うと、自動的にアップルの最新ソフトウェアを調べてインストールするように iMac G5 を設定できます。詳しくは、「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「ソフトウェア・アップデート」で検索してください。

AirMac ワイヤレス通信に問題があるときは

- AirMac Extreme ベースステーションまたは AirMac Express ベースステーションに付属の説明に従って、ソフトウェアを正しく設定したことを確認します。
- 接続しようとしている iMac G5 またはネットワークが稼動していて、ワイヤレス・アクセス・ポイントを持っていることを確認します。
- コンピュータやネットワークのアクセスポイントのアンテナの有効範囲内にいることを確認してください。電気製品や金属の建造物が近くにあると、ワイヤレス通信が妨げられ、通信範囲が狭くなる可能性があります。iMac G5 の場所を変えたり、向きを変えたりすると受信効率が上がることがあります。
- AirMacの信号レベルを確認します。メニューバーのAirMacステータスアイコンに最大4本のバーが表示されます。
- 電子レンジ、コードレス電話、または干渉の原因となるその他の装置をベースステーションのそばで頻繁に使用している場合、ネットワークパフォーマンスに問題が生じることがあります。干渉を最小限に抑えるには、それらの装置からベースステーションを離してください。
- AirMac の使用やトラブルへの対処方法について詳しくは、「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「ライブラリ」＞「AirMac ヘルプ」と選択してください。

ディスクの取り出しに問題があるときは

- ディスクを取り出せない場合は、ディスクを使用している可能性があるアプリケーションをすべて終了し、キーボードのメディア・イジェクト・キー（⏏）を押します。
- それでも取り出せない場合は、Finder ウインドウを開き、サイドバーでディスクのアイコンの横にある取り出しアイコンをクリックするか、デスクトップにあるディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします。
- それでも取り出せない場合は、マウスボタンを押したまま iMac G5 を再起動します。

インターネット接続に問題があるときは

- ネットワークケーブルが正しく接続されていることと、正しく動作することを確かめます。
- ダイヤルアップインターネット接続を使用している場合は、モデムケーブルが外部モデムのポートに接続されており、Ethernet ポート（<··>）に接続されていないことを確かめます。
- インターネットに接続するための iMac G5 の設定については、67 ページの「インターネットに接続する」を参照してください。インターネット接続の設定方法や、インターネット・サービス・プロバイダへの問い合わせ先を知る方法（「設定アシスタント」でインターネットアカウントを取得した場合）が記載されています。
- インターネット接続に問題が起きた場合の詳細は、81 ページの「接続のトラブルシューティング」を参照してください。

iMac G5 を使用しているときや Mac OS を操作しているときに問題が起きるときは

- 疑問に対する回答がこのマニュアルに記載されていない場合は、「Mac ヘルプ」で操作手順やトラブルへの対処方法を調べてください。「Finder」で「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択します。
- アップルのサポート情報の Web サイト（www.apple.com/jp/support）では、トラブルへの対処方法やソフトウェアのアップデートに関する最新情報を参照できます。

日時の設定が繰り返し失われるときは

- 内部バックアップバッテリーを交換する必要がある場合があります。お使いの iMac G5 のバッテリーは、ユーザには交換できません。詳しくは、アップル正規サービスプロバイダまたは Apple Retail Store（Apple Store 直営店）に問い合わせてください。

製品のシリアル番号を確認する

お使いの iMac G5 のシリアル番号は、スタンドの底面にあります。「システムプロファイラ」を使ってシリアル番号を確認することもできます。メニューバーからアップル（）メニュー＞「この Mac について」と選択し、「詳しい情報」をクリックします。ハードウェアの開閉用三角ボタンをクリックしてシリアル番号を表示します。

Apple Hardware Test を使用する

「Apple Hardware Test」を使って、iMac G5 のハードウェアに問題があるかどうかを確認することができます。

Apple Hardware Test を使用するには：

1 キーボードとマウス以外のすべての外部装置を iMac G5 から取り外します。Ethernet ケーブルが接続されている場合は、そのケーブルを取り外します。

2 iMac G5 に付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。

3 iMac G5 を再起動し、起動時に Option キーを押したままにします。

4 使用可能な起動ボリュームのリストが表示されたら、「Apple Hardware Test」をクリックします。

5 右矢印をクリックします。

6 「Apple Hardware Test」のメイン画面が表示されたら（約 45 秒後）、画面に表示される指示に従って操作します。

7 「Apple Hardware Test」によって問題が検出された場合は、エラーコードが表示されます。サポートを要請する前に、エラーコードをメモしてください。「Apple Hardware Test」によってハードウェアの障害が検出されない場合、問題はソフトウェアに関係している可能性があります。

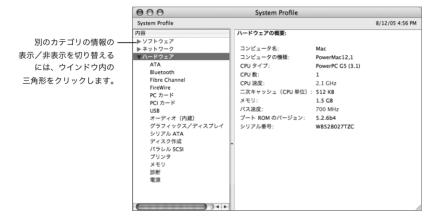
「Apple Hardware Test」について詳しくは、「Mac OS X Install Disc 1」にある「Apple Hardware Test について」を参照してください。

仕様

A

「システムプロファイラ」を使って、内蔵メモリ量、ハードディスク容量、取り付けられた装置、および製品のシリアル番号など、お使いの iMac G5 の詳しい情報を確認できます。

「システムプロファイラ」の情報にアクセスするときは、メニューバーからアップル（）メニュー＞「この Mac について」と選択し、「詳しい情報」をクリックします。

別のカテゴリの情報の表示／非表示を切り替えるには、ウインドウ内の三角形をクリックします。

詳しい情報は、インターネット（www.apple.com/jp/imac および www.apple.com/jp/support）で参照できます。

安全性、使用、保守についての情報

B

付録

安全のため、および装置の保全のため、iMac G5 を清掃したり扱ったりするときは、この付録で説明するルールに従ってください。また、この付録では、より快適に作業するためのガイドラインも示しています。

iMac G5 を安全に設置、使用するために

コンピュータをお使いになる方の安全と装置の故障防止のため、常に以下の点にご注意ください。

次のようなときは、電源コードを抜いてから（コードではなく、必ずプラグを持って抜いてください）、モデムケーブルを取り外してください：

- メモリを追加したいとき
- 電源コードやプラグがすり切れているときや壊れているとき
- 本体内部に液体が流れ込んだとき
- iMac G5 が雨や過度の湿気にさらされたとき
- iMac G5 を落としたときや、装置の外面が壊れたとき
- iMac G5 に保守サービスや修理が必要だと思われるとき
- 装置の外面を清掃したいとき（後述の方法以外では清掃しないでください）

重要：電源を完全に切る唯一の方法は、電源コードを取り外すことです。必要なときに iMac G5 の電源を切れるようにするため、電源コードのどちらか一端にすぐに手が届く場所に設置してください。

警告：付属の電源コードには、アース線が付いています。このアース線は、接地電源コンセントのみに適合します。コンセントが接地されていないためにそのコンセントに接続できない場合は、電気技師に依頼してコンセントを適切な接地コンセントと取り換えてください。アース線は、できれば接続するようにしてください。

常に以下の注意事項をお守りください：

- 飲み物、洗面台、浴槽、シャワーなど、水のある場所には iMac G5 を近付けないでください。
- 雨や雪が入り込む場所や、湿度が極端に高い場所には iMac G5 を近付けないでください。
- iMac G5 の電源コードをコンセントに差し込む前に、設置手順の解説をよくお読みください。
- コンピュータをお使いになる方が、いつでもこれらの注意事項を参照できるようにしておいてください。
- お使いのシステムに関する指示や警告には、必ず従ってください。

重要：電気製品は、取り扱いを誤ると大変危険です。本製品に限らず、お子様が電気製品をお使いになるときは、そばで大人の方が監視、指導してあげてください。また、電気製品の内部やケーブル、コード類にはお子様が手を触れないようにご注意ください。

警告：本製品の本体ケースの穴やすきまなどに、ものを差し込まないでください。そのようなことをすると、大変危険です。また、火災や感電につながる可能性もあります。

自分で修理をしない

お使いの iMac G5 には、メモリを除いて、ユーザが修理できる部品はありません（メモリの追加については、47 ページの第 4 章「メモリを取り付ける」を参照してください）。iMac G5 を開けないでください。iMac G5 の修理が必要な場合は、アップル正規サービスプロバイダまたはアップルに問い合わせる方法について、コンピュータに付属のサービスとサポートに関する資料を参照してください。

iMac G5 を開けた場合、またはメモリ以外の部品を取り付けた場合、装置が故障する危険性があります。ご自分で行った作業が原因で発生した故障に対して、製品保証は適用されません。

コネクタとポート

コネクタを無理にポートに押し込まないでください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、コネクタとポートが合っていない可能性があります。コネクタとポートが合っていることと、コネクタとポートの向きや位置が正しいことを確認してください。

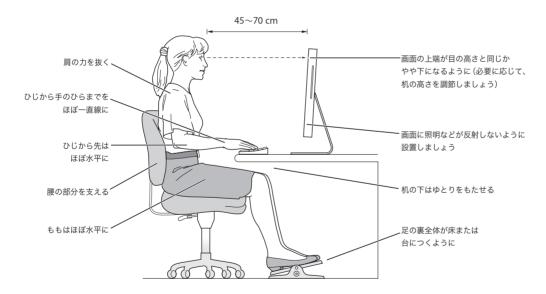
聴覚障害を避ける

警告：イヤフォンやヘッドフォンを大きな音で使用すると、聴覚に障害が生じる場合があります。大音量で聞いていると耳が慣れて普通に聞こえるようになりますが、聴覚を損なう危険があります。耳鳴りがしたり声がこもって聴こえたりする場合は、使用を中止し、聴覚の検査を受けてください。音量が大きいほど、聴覚への影響が早く現れます。専門家は、聴覚を保護するために次のことを推奨しています：

- イヤフォンやヘッドフォンを大音量で使用する時間を制限する
- 周囲の騒音を遮断するために音量を上げるのを避ける
- 人の話し声が聞こえない場合は音量を下げる

人間工学

イス

イスは、調節機構付きで、快適で安定感のあるものが理想的です。イスの高さは、座ったときに太ももがほぼ水平になるように調節しましょう。このとき、足の裏全体が床に着くようにしてください。イスは、背もたれが腰の部分を支えるように調節しましょう。使っているイスの説明書などを参照して、背もたれを自分の身体に合わせて調節してください。

キーボードを操作するときにひじを直角に保つためには、イスの高さを調節する必要があるかもしれません。イスを高くしたことで、足の裏全体が床に着かなくなったときは、足は台のようなものに載せてもかまいません。足を台に載せる代わりに、机を低くする方法もあります。また、机よりもやや低い位置にキーボード専用の台が付いている机を利用する方法もあります。

ディスプレイ

ディスプレイは、キーボードの前に座ったときに画面の上端が目の高さかそれよりもやや低くなるように設置しましょう。目から画面までの距離は各自で決めてかまいませんが、45 〜 70cm 程度の間隔を取るのが一般的なようです。

ディスプレイは、画面に窓の明かりや照明などが反射しないような場所に設置しましょう。

マウス

マウスはキーボードと同じ高さに置き、無理なく届く範囲にあるようにします。

キーボード

キーボードを使うときは肩に力を入れすぎないようにしてください。上腕と前腕の角度は、直角よりも少し大きくなるようにします。また、手首と手のひらは、ほぼ一直線になるようにしてください。

入力するときは軽くタッチし、手と指に力を入れすぎないようにしてください。親指を手のひらの下に入れないように注意してください。

頻繁に手の位置を変えると、疲労を防止できます。休みなしで集中して作業すると、手や手首、腕などの不快感が増す場合があります。手や手首、腕などの痛みや不快感が慢性的になってきたら、専門医に相談しましょう。

人間工学についての詳しい情報

次の Web サイトを参照してください：www.apple.com/jp/about/ergonomics

iMac G5 を清掃する

iMac G5 や装置の外面を清掃するときは、以下の注意事項を守ってください：

- iMac G5 をシステム終了し、すべてのケーブルを取り外します。
- iMac G5 コンピュータの外面を清掃するときは、柔らかく、けば立たない布に少量の水を付けて使用してください。清掃の際には装置に水などが入り込まないように注意してください。iMac G5 に液体を直接吹きかけないでください。
- スプレー式の液体クリーナー、溶剤、研磨剤などは使わないでください。

iMac G5 のディスプレイを清掃する

iMac G5 の画面は、以下の手順で清掃してください：

- iMac G5 をシステム終了し、すべてのケーブルを取り外します。
- 柔らかくけば立たない布や紙を軽く湿らせてから画面を清掃します。画面に液体を直接吹きかけないでください。

iMac G5 を持ち運ぶ

iMac G5 を持ち上げたり移動したりする前に、接続されているケーブルやコードをすべて取り外す必要があります。

iMac G5 を持ち上げたり移動したりするときは、コンピュータの側面を持ってください。

環境向上への取り組み

Apple Computer, Inc. では、事業活動および製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。詳しい情報については、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/summary.html

インターネットに接続する

付録

iMac G5 を使って、World Wide Web をブラウズしたり、友達や家族にメールを送ったり、インターネット上でリアルタイムで会議を行ったりできます。インターネットに接続するには、この詳しいガイドを使用してください。

はじめて Mac OS X を起動するときに、「設定アシスタント」を使ってインターネット設定情報を簡単に入力することができます。

「設定アシスタント」を使ってインターネット接続を設定しなかった場合は、ここで「設定アシスタント」を使って設定できます。「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」をクリックします。「アシスタント」ボタンをクリックして、「ネットワーク設定アシスタント」を開きます。「ネットワーク設定アシスタント」を使用しない場合は、この付録を参照して手入力で接続を設定できます。

インターネット接続には、次の 4 つの種類があります：

- ダイヤルアップ接続 ― 外部モデムをコンピュータの USB ポートに接続し、モデムケーブルを使って、モデムを電話のモジュラージャックにつなぎます。
- 高速DSLモデムまたはケーブルモデム接続―Ethernetケーブルを使って、ISPから提供された特別なモデムにコンピュータをつなぎます。
- AirMac Extremeワイヤレス接続 ―AirMac Extreme ベースステーションまたは AirMac Express ベースステーションを使って、ワイヤレスでインターネットにコンピュータを接続します。
- LAN（Local Area Network）―Ethernet ケーブルを使って、LAN にコンピュータをつなぎます。会社などで一般に使用されている方法です。

インターネットに接続する前に：

1 ISP のアカウントを設定します。電話帳のインターネット関連のページで、ISP を見つけることができます。「インターネットアクセス」、「インターネットサービス」、「オンライン」などの見出しで探してください。

2 必要な接続情報を ISP またはネットワーク管理者から入手します。それぞれの接続の種類に必要な情報については、次の 69 ページの「設定アシスタントワークシート」を参照してください。

同じ場所にある別のコンピュータがすでにインターネットに接続されている場合は、その設定を使用できることがあります。

Mac OS X コンピュータで設定情報を見つけるには：

- 「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルを開きます。
- 「表示」ポップアップメニューからお使いの接続方法を選択します。
- お使いの設定に関する情報をコピーします。

Mac OS 9 コンピュータで設定情報を見つけるには：

- 「TCP/IP」コントロールパネルを開きます。
- 「経由先」ポップアップメニューで接続方法を見つけます。
- 「設定方法」ポップアップメニューで設定を見つけます。
- 対応するフィールドからIPアドレス、サブネットマスク、およびルーターアドレスをコピーします。

Windows PC で設定情報を見つけるには：

Windows コンピュータの接続情報は 2 つの場所にあります。

- IP アドレスとサブネットマスクを見つけるには、「ネットワーク接続」コントロールパネルを開きます。
- ユーザアカウント情報を見つけるには、「ユーザー アカウント」 コントロールパネルを開きます。

次のページ以降に情報を直接書き込むことができます。次に、その情報を「設定アシスタント」に入力します。

3 外部モデムを使用する場合は、モデムをコンピュータの USB ポートにつなぎ、モデムケーブルをモデムのポートと電話のモジュラージャックにつなぎます。DSL モデムまたはケーブルモデムを使用する場合は、モデムに付属の指示に従ってモデムをコンピュータに接続します。

4 お使いのコンピュータの電源を入れ、「設定アシスタント」に情報を入力してインターネット接続を設定します。

参考：コンピュータを起動済みで、インターネット接続の設定に「設定アシスタント」を使用しなかった場合は、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ネットワーク」をクリックします。次に、「アシスタント」をクリックします。「設定アシスタント」が表示されます。

設定アシスタントワークシート

インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）、ネットワーク管理者、またはほかのコンピュータから入手した情報をこれ以降のページに書き込んでから、その情報を「ネットワーク設定アシスタント」に入力することができます。

コンピュータからインターネットに接続する方法を選んでください。

- ☐ 電話回線モデム
- ☐ ケーブルモデム
- ☐ DSLモデム
- ☐ ローカルネットワーク（Ethernet）
- ☐ ワイヤレス

モデムによるダイヤルアップ接続を設定するには、次の情報を入力します：

ユーザ名

パスワード

ISPの電話番号

外線をかけるために必要な発信番号

DSL モデムまたはケーブルモデム、あるいは LAN 接続を設定するには：

1 接続の種類を選択します。この情報は、お使いの ISP に問い合わせてください。

- ☐ 手入力
- ☐ DHCPルーターを使って手入力
- ☐ DHCPサーバを参照
- ☐ BootPサーバを参照
- ☐ PPP

2 ISP から取得した情報を入力します：

「手入力」または「DHCP を使ってアドレスを手入力」* を選択した場合は、次の情報を入力します：

IPアドレス

サブネットマスク

ルーターアドレス

* 「DHCP を使ってアドレスを手入力」を選択した場合は、サブネットマスクまたはルーターアドレスを入力する必要はありません。

「DHCP サーバを参照」を選んだ場合は、次の情報を入力します：

DHCPクライアントID

参考：DHCP クライアント ID はオプションであり、必要ない場合もあります。お使いの ISP に問い合わせてください。

「PPP」（PPPoE 接続用）を選んだ場合は、次の情報を入力します：

サービスプロバイダ（オプション）

PPPoEサービス名（オプション）

アカウント名

パスワード

次の情報はオプションです。入力する必要があるかどうか、お使いの ISP に問い合わせてください。

DNSホスト（DHCPおよびBootP用のオプション）

ドメイン名（オプション）

プロキシサーバ（オプション）

インターネット接続を手入力で設定する

「設定アシスタント」を使って前のページの手順を完了したら、インターネット接続の設定は終了です。「設定アシスタント」を使わない場合、またはインターネット設定の特定の部分だけを変更したい場合は、次の手順を使って手入力で接続を設定することができます。

手入力で情報を入力するときは、接続方法に応じた手順に従います。

- ダイヤルアップモデムを使った PPP（Point-to-Point Protocol）接続（71 ページを参照）
- 以下の設定を使用するケーブルモデム、DSL モデム、または LAN 接続：
  - 手入力（75 ページを参照）
  - DHCP（75 ページを参照）
  - PPPoE（76 ページを参照）
- AirMac ワイヤレス接続（78 ページを参照）

ダイヤルアップ接続

ダイヤルアップモデムは、インターネットに接続する一般的な方法です。iMac G5 で外付けの Apple USB Modem を使用する場合、モデムは、PPP（Point-to-Point Protocol）と呼ばれる方式を使って ISP に接続します。

外部モデムがコンピュータの USB ポートと電話回線につながっていることを確認してください。ISP から提供された情報が利用できるようにしてください（69 ページを参照）。

内蔵モデムポートのネットワーク環境設定を設定するには：

1. メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。

3 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択し、「外部モデム」の横にある「入」チェックボックスを選択します。

4 「外部モデム」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグして、優先するネットワークインターフェイスにします。

5 「表示」ポップアップメニューから「外部モデム」を選択し、「PPP」をクリックします。

6 ISP から提供された情報を入力し、「今すぐ適用」をクリックします。

インターネット設定をテストするには：

1 「アプリケーション」フォルダ内にある「インターネット接続」アプリケーションを開きます。

2 必要に応じて、「外部モデム」アイコンをクリックします。

3 必要に応じて、ダイヤルアップの電話番号、アカウント名、およびパスワードを入力します。

4 「接続」をクリックします。

「インターネット接続」は、ISP にダイヤルして接続を確立します。

Web ブラウザやメールなどのインターネットアプリケーションの起動時に自動的に接続するには：

1 「ネットワーク」環境設定の「PPP」パネルにある「PPP オプション」をクリックします。

2 「必要なときに自動的に接続」チェックボックスを選択します。

3 「OK」と「今すぐ適用」をクリックします。

DSL モデム、ケーブルモデム、LAN でのインターネット接続

DSL モデム、ケーブルモデム、または Ethernet LAN を使ってインターネットに接続する場合は、インターネット接続の設定方法を ISP またはネットワーク管理者に問い合わせてください：

- 手入力 — 手入力で設定する場合は、静的 IP アドレスと「ネットワーク」環境設定に入力するその他の情報が ISP またはネットワーク管理者から提供されます。
- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用する —DHCP 設定の場合は、DHCP サーバが自動的に情報を入力します。
- PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）を使用する —DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためのユーザ名とパスワードが必要な場合は、PPPoE を使ったネットワークの設定が必要な場合があります。

ネットワークを設定するときに ISP から提供された情報が利用できることを確認してください（69 ページを参照）。

内蔵 Ethernet ポートのネットワーク環境設定を設定するには：

1 メニューバーからアップル（ ）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。

4 「内蔵 Ethernet」の横にある「入」チェックボックスを選択します。

5 「内蔵 Ethernet」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグして、優先するネットワークインターフェイスにします。

次に、ISP またはネットワーク管理者に指示された通りに、ネットワークを手入力、DHCP、または PPPoE で設定するための手順に従います。

手入力による設定

ISPから提供された静的IPアドレス、ルーターアドレス、サブネットマスク情報を用意します（69 ページを参照）。

手入力による設定を行うには：

1 「ネットワーク」環境設定で、「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

2 必要に応じて、「TCP/IP」をクリックします。

3 「IPv4 の設定」ポップアップメニューから「手入力」を選択します。

4 その他の情報を対応するフィールドに入力します。

5 「今すぐ適用」をクリックします。

いったんネットワークを設定すれば、いつでも接続することができます。Web ブラウザ（または別の TCP/IP アプリケーション）を開いて、インターネット接続をテストします。

DHCP による設定

DHCP による設定を行うと、DHCP サーバから自動的にネットワーク情報が提供されます。

DHCP による設定を行うには：

1 「ネットワーク」環境設定で、「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

2 必要に応じて、「TCP/IP」をクリックします。

3 「IPv4 の設定」ポップアップメニューから「DHCP サーバを参照」を選択します。

4 「今すぐ適用」をクリックします。

Web ブラウザ（または別の TCP/IP アプリケーション）を開いて、インターネット接続をテストします。

参考：ISP から特に指示されていない限り、「DHCP クライアント ID」フィールドと「検索ドメイン」フィールドは無視します。

PPPoE による設定

DSL ベースの ISP の中には、PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）を使用しているところがあります。DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためにユーザ名とパスワードが必要な場合は、ISP に問い合わせて、PPPoE を使って接続する必要があるかどうか確認してください。

PPPoE による接続を設定するには：

ネットワークを設定するときに、ISP から提供されたユーザ名、パスワード、および必要に応じて DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）アドレスを用意します（69 ページを参照）。

1 「ネットワーク」環境設定で、「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

2 「PPPoE」をクリックし、「PPPoE を使って接続」を選択します。

3 対応するフィールドに情報を入力します。お使いになっているコンピュータのすべてのユーザが同じ接続方法を使うようにしたい場合は、「パスワードを保存する」を選択します。

参考：Web ブラウザやメールなどの TCP/IP アプリケーションを起動したときに自動的に接続するには、「PPPoE オプション」をクリックしてから、「必要なときに自動的に接続」を選択し、「OK」をクリックします。

4 「TCP/IP」をクリックし、ISP に指示された通りに、「IPv4 の設定」ポップアップメニューから「PPP を使用」または「手入力」を選択します。ISP から静的な IP アドレスを提供されている場合は、「手入力」を選択して「IP アドレス」フィールドにそのアドレスを入力します。

5 「DNS サーバ」フィールドに、DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）のアドレスを入力します。

6 「今すぐ適用」をクリックします。

いったんネットワークを設定すると、いつでもインターネットに接続できます。Web ブラウザやその他の TCP/IP アプリケーションを開いて、接続をテストできます。

重要：自動接続のオプションを選択しなかった場合は、「インターネット接続」アプリケーションを開いて正しい設定を選択してから「接続」をクリックする必要があります。詳しくは、画面の上部にあるメニューバーから「ヘルプ」＞「インターネット接続ヘルプ」と選択してください。

AirMac ワイヤレス接続

iMac G5 には、あらかじめ AirMac Extreme カードが搭載されています。AirMac ネットワークおよびインターネット接続の設定は、「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにある「AirMac 設定アシスタント」を使って行えます。「設定アシスタント」は、AirMac ベースステーションを設定し、AirMac を使用するようにコンピュータを設定するのに役立ちます。AirMac ベースステーションについて詳しくは、お使いのベースステーションに付属のマニュアルを参照してください。

お使いの AirMac ベースステーションがすでに設定されていれば、ほとんどの場合 AirMac Extreme カードからベースステーションにすぐにアクセスすることができます。

AirMac ネットワークにアクセスできるかどうかを確認するには：

- メニューバーのAirMacステータスアイコンをクリックし、リスト表示されているAirMacネットワークを選択します。

リストに AirMac ネットワークがない場合は、「AirMac 設定アシスタント」を使って設定を確認または変更することも、「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルを使って設定を変更することもできます。

手動で AirMac 接続を設定する

手動で接続を設定する場合は、システム管理者から以下の情報を入手します。

DHCP を使用して接続する場合は、これらの情報のほとんどはネットワークからコンピュータに自動的に提供されるため、必要事項をシステム管理者に問い合わせてください。

- 必要であれば、DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）のアドレス
- DHCP または手入力による IP アドレスの設定
- IP アドレス
- ルーターアドレス
- サブネットマスク
- 必要であれば、パスワード

次に、「ネットワーク」環境設定で AirMac 接続のオプションが有効になっていることを確認します。

AirMac 接続のネットワーク環境設定を設定するには：

1. メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
3. 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。

4 「AirMac」の横にある「入」チェックボックスを選択します。

次に、ISP またはネットワーク管理者に指示された通りに、ネットワークを手入力または DHCP のいずれかで設定するための手順に従います。自分でネットワークを設定する場合は、サーバによって IP アドレスが自動的に割り当てられるので DHCP を使ってネットワークを設定する方が簡単です。

5 「表示」ポップアップメニューから「AirMac」を選びます。

6 必要に応じて、「TCP/IP」をクリックします。

7 「IPv4 の設定」ポップアップメニューで、「手入力」または「DHCP サーバを参照」を選択します。

- 「手入力」を選択した場合は、その他の情報を対応するフィールドに入力してください。
- 「DHCP サーバを参照」を選択した場合は、システム管理者の指示がない限り、さらに情報を入力する必要はありません。

8 「AirMac」をクリックして、再起動後やコンピュータがスリープ状態から元に戻ったときに AirMac Extreme ネットワークに接続するためのオプションを選択します。

9 「今すぐ適用」をクリックします。

いったん AirMac の設定を行うと、いつでも接続することができます。

AirMac 接続をテストするには：

- メニューバーの AirMac ステータスアイコンをクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。

通信圏内にある AirMac Extreme ネットワークがすべてメニューに表示されます。

接続のトラブルシューティング

ケーブルモデム、DSL モデム、LAN でのインターネット接続

AirMac、内蔵 Ethernet、または外部モデムを使用してインターネットに接続できない場合は、ネットワーク診断を使用すると、接続の問題を解決するのに役立ちます。「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルにある「アシスタント」をクリックしてから、「診断」をクリックして「ネットワーク診断」を開き、画面の指示に従います。

ネットワーク診断で問題を解決できない場合は、接続しようとしている ISP、ISP に接続するために使用している外部デバイス、またはアクセスを試みているサーバに問題がある可能性があります。以下の手順を使用することもできます。

ケーブルや電源をチェックする

モデムの電源コード、モデムとコンピュータの接続コード、モデムとモジュラージャックの接続コードなどのすべてのモデムケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。Ethernet ハブやルーターへのケーブルと電源を確認します。

モデムの電源を切ってから再投入し、モデムハードウェアをリセットする

DSL モデムやケーブルモデムの電源を数分間切ってから再投入します。ISP の中には、モデムの電源コードを抜くことを勧めるところもあります。モデムにリセットボタンがついている場合は、いったん電源を切って再投入する前か後でリセットボタンを押すことができます。

PPPoE 接続

PPPoE を使ってインターネット・サービス・プロバイダに接続できない場合は、まずケーブルと電源をチェックしてからモデムハードウェアの電源を切って再投入し、リセットします。

システム環境設定の設定をチェックする：

1. アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
3. 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。
4. 「内蔵 Ethernet」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグします。
5. 「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。
6. 「PPPoE」をクリックします。
7. 「PPPoE を使って接続」を選択します。
8. 「アカウント名」フィールドをチェックして、ISP から提供された正しい情報を入力していることを確認します。
9. パスワードの保存を選択していた場合は、パスワードが正しいことを確認するためにパスワードをもう一度入力します。
10. 「TCP/IP」をクリックします。ISP から提供された正しい情報をこのパネルに入力したことを確認してください。
11. 「今すぐ適用」をクリックします。

ネットワーク接続

2 台以上のコンピュータでインターネット接続を共有する場合は、ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ISP が 1 つの IP アドレスのみを提供しているか、各コンピュータに 1 つずつ複数の IP アドレスを提供しているかを、知っておく必要があります。

1 つの IP アドレスのみを使用する場合は、接続を共有できるルーター、すなわちネットワークアドレス変換（NAT）または「IP マスカレード」が可能なルーターを用意する必要があります。設定情報については、ルーターに付属のマニュアルを確認するか、ネットワークの設定担当者に確認してください。AirMac Extreme ベースステーションを使って、1 つの IP アドレスを複数のコンピュータで共有することができます。AirMac Extreme ベースステーションの使用方法について詳しくは、オンスクリーンヘルプを確認するか、アップルの AirMac の Web サイト（www.apple.com/jp/airmac）を参照してください。

上記の手順で問題が解決しない場合は、ISP に問い合わせてください。

通信情報機器に関する規制

FCC Compliance Statement

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or television reception is suspected.

Radio and Television Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and television reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the television or radio.
- Move the computer farther away from the television or radio.
- Plug the computer into an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the computer and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple-authorized service provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc., could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product has demonstrated EMC compliance under conditions that included the use of compliant peripheral devices and shielded cables between system components. It is important that you use compliant peripheral devices and shielded cables (including Ethernet network cables) between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices.

Responsible party (contact for FCC matters only):
Apple Computer, Inc.
Product Compliance
1 Infinite Loop M/S 26-A
Cupertino, CA 95014-2084

Bluetooth Information

FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Bluetooth Europe–EU Declaration of Conformity

This wireless device complies with the specifications EN 300 328, EN 301-489, and EN 60950 following the provisions of the R&TTE Directive.

Industry Canada Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

European Community

Complies with European Directives 72/23/EEC and 89/336/EEC, and 99/5/EC.

Laser Information

Warning: Making adjustments or performing procedures other than those specified in your equipment's manual may result in hazardous radiation exposure.

Do not attempt to disassemble the cabinet containing the laser. The laser beam used in this product is harmful to the eyes. The use of optical instruments, such as magnifying lenses, with this product increases the potential hazard to your eyes. For your safety, have this equipment serviced only by an Apple Authorized Service Provider.

Because of the optical disc drive in your computer, your computer is a Class 1 laser product. The Class 1 label, located in a user-accessible area, indicates that the drive meets minimum safety requirements. A service warning label is located in a service-accessible area. The labels on your product may differ slightly from the ones shown here.

DANGER - Invisible laser radiation when open. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION - RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ATTENZIONE - RADIAZIONE LASER INVISIBILE IN CASO DI APERTURA. EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION - RADIACION LASER INVISIBLE CUANDO SE ABRE. EVITAR EXPONERSE AL RAYO.
VARO! - AVATTAESSA OLET ALTTIINA NÄKYMÄTTÖMÄLLE LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING! - OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. BETRAKTA EJ STRÅLEN.
ADVARSEL! - USYNLIG LASER STRÅLING, NÅR DENNE ER ÅBEN. UNDGÅ BESTRÅLING.
ADVARSEL - USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRALEN.
注 意 - このカバーの内部では不可視レーザー光が放射されています。レーザー光にさらされないようにしてください。
RS5-8169

Class 1 label   Service warning label

Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of the AirPort Extreme Card in this device is far below the FCC radio frequency exposure limits for uncontrolled equipment. This device should be operated with a minimum distance of at least 20 cm between the AirPort Extreme Card antennas and a person's body and must not be co-located or operated with any other antenna or transmitter.

Mouse Class 1 LED Information

The Apple optical mouse is a Class 1 LED product in accordance with IEC 60825-1 A1 A2. This product complies with the requirements of European Directives 72/23/EEC and 89/336/EEC.

It also complies with the Canadian ICES-003 Class B Specification.

Taiwan Statement

產品名稱：滑鼠

型號：A 1 1 5 2

進口商：美商蘋果電腦股份有限公司台灣分公司

Korea Statement

명 칭(모 델 명) : 마우스(A1152)
인 증 번 호 : E-C011-05-3838(B)
인 증 자 상 호 : 애플컴퓨터코리아(주)
제 조 년 월 일 : 별도표기
제조자/제조국 : Apple Computer Inc. / 말레이지아

危険性の高い行為に関する警告

このコンピュータシステムは、原子力施設・飛行機の航行や通信システム・航空管制システムなど、コンピュータシステムの障害が生命の危険や身体の障害、あるいは重大な環境破壊につながるようなシステムにおける使用を目的としていません。

ENERGY STAR® Compliance

As an ENERGY STAR® partner, Apple has determined that standard configurations of this product meet the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency. The ENERGY STAR program is a partnership with office product equipment manufacturers to promote energy-efficiency. Reducing energy consumption of office products saves money and reduces pollution by eliminating wasted energy.

廃棄とリサイクルに関する情報

この製品のバックライトランプには水銀が含まれます。お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。

アップルのリサイクルプログラムについては、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/summary.html

European Union: This symbol means that according to local laws and regulations your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.

バッテリーの廃棄

お使いの iMac G5 には内部バックアップバッテリーが装備されています。バックアップバッテリーは、コンピュータの電源が切れているときに、日時などの設定を保持します。バッテリーの交換はしないでください。バッテリーを交換できるのは、アップル認定の技術者だけです。

この製品の寿命が尽きたときは、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。

Nederlands: Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.

Deutschland: Dieses Gerät enthält Batterien. Bitte nicht in den Hausmüll werfen. Entsorgen Sie dieses Gerätes am Ende seines Lebenszyklus entsprechend der maßgeblichen gesetzlichen Regelungen.

Taiwan:

廢電池請回收